

航空法案外一件特別委員會議事速記録第一號

付託議案

無線電信法中改正法律案

委員氏名

委員長
副委員長

伯爵柳原	義光君
男爵坂本	俊篤君
子爵高倉	永則君
男爵阪谷	芳郎君
男爵藤井	包總君
加藤	恆忠君
湯淺	倉平君
三木	與吉郎君
富永	猿雄君

大正十年三月十四日(月曜日)午後一時二十三分開會

○委員長(伯爵柳原義光君) ソレデハ是ヨリ航空法案外一件ノ委員會ヲ開キマス、先ヅ航空法案ニ付テ政府當局ノ御説明ヲ請ヒマス

○政府委員(山梨半造君) 豫メ一ツ許可ヲ願ヒタイコトハ、此詳細ノコトハ説明者ヲ連レテ居リマスルカラ、其説明者ノ方カラ説明ヲ致シマス、航空法案ノ大體ニ付テ申上デマス、本法案ハ概ネ航空ニ關スル國際航空條約ニ準據イタシテ出來テ居ルモノデアリマス、此ノ國際航空條約ハ既ニ帝國政府ニ於テモ調印ヲ了シテ居リマシテ、近ク御批准アラセラルベキモノト存ジマスル次第デアリマス、ソレ故ニ此本法案モ成ルベク本期議會ノ御協賛ヲ受ケタイ考デ提出シタ次第デアリマス、本法案ハ七章ヨリ成立ッテ居リマス、第一章ハ總則デアリマシテ、此總則ニハ航空機ノ定義、航空機ノ國籍取得ノ要件ヲ定メテアルノデアリマス、デ航空機ニ國籍ヲ定メマスルノハ、主トシテ此ノ國防ノ安全、軍機ノ保護、並ビニ自國航空機ノ保護ノ必要上カラ之ヲ定ムルノデアリマス、第二章ニハ航空ノ検査、及ビ登録ニ關スル規定ヲ定メテアルノデアリマス、デ航空機ノ検査ハ申スマデモナク、

保安上ノ必要ニ基クデアリマシテ、其検査ハ單ニ初頭ノ検査バカリデナクシテ、定期又ハ臨時ニ其検査ヲ施行イタシマシテ、以テ航空ノ危險ヲ防止シ様トスルノデアリマス、又登録ハ之ニ依テ航空機ノ國籍取得ヲ明カニ致シテ、且ツ其航空機ニ特有スル所ノ標識、即チ船ノ名ノ如ク符號ヲ以テ標識ヲ與ヘルモノデアリマシテ、其標識ヲ決定致シテ以テ諸般ノ取締、其他ノ行政上ノ利便ニ供セムトスルノ趣旨ナリデアリマス、第三章ニハ航空機ノ乘員ニ關スル規定ヲ定メテ居ルノデアリマス、航空機ノ乘員ハ定メラレテアル所ノ試験ニ合格シテ、サウシテ乘員タルノ免許ヲ受ケル必要ガアルノデアリマス、デ免許後ニ於キマシテモ、定期又ハ臨時ニ其能力ノ検査ヲ施行イタシテ、以テ操縦ニ伴フ危險ヲ防止スル趣旨ヲ明カニシテアリマス、第四章ニハ飛行場及ビ其經營者ニ關スル規定ヲ定メテ居ルノデアリマス、デ飛行場ハ此空中ノ港トモ稱シテ居ルコトデアリマシテ、航空路ノ開設上必須ノ是ハ設備デアリマス、又保安上ノ關係モ少ナクナイノデアリマス、ソレ故ニ其設置、其區域ノ變更、並ビニ公共用飛行場ノ廢止等ハ何レモ官廳ノ許可ヲ要スルモノトシテアルノデアリマス、且此ノ公共用飛行場ハ自身ガ經營シテ居リマスル場合ニ於テモ、一般航空機ニ對シマシテハ其使用ヲ自由ニ致シテ、他ノ目的ニ之ヲ使用スルコトヲ制限シ、經營者ニ對シテハ飛行場トシテ必要ナル設備ノ設置及ビ其維持ノ義務マデモ負擔セシメテ居ルノデアリマス、從ッテ該經營者ガ特殊ノ設備ヲ維持スル爲ニ必要ナル場合ニ於キマシテハ、相當ノ損害ヲ補償イタシマシテ、障礙トナルベキ他人ノ其物件ヲ除キ、又ハ他人ノ土地若クハ物件ヲ使用シ得ベキ權能ヲ認メテ居ルノデアリマス、第五章ニ於キマシテハ、航空及ビ運送ニ關スル取締規定ヲ定メテ居リマス、此航空ニ關シマシテハ、航空船及ビ飛行機ハ飛行場ニ於テ離陸著陸スベキコトヲ原則ト定メテ居リマス、又保安上若シクハ軍事上必要アル特殊ノ地域ニ

ハ、之ヲ航空禁止地帶トシテ一般ノ飛行ヲ禁止シ、其他航空及ビ航空營業ニ關スル取締規定ヲ定メテ居ルノデアリマス、第六章ニハ雜則ヲ掲ゲテアリマス、飛行場ノ用地トスル爲必要ナル土地ハ、土地收用法ニ依リマシテ收用致シ、又ハ使用シ得ルヤウニシテアリマス、其用地ニ對シマシテハ、地租ヲ免除スベキコトヲ定メテ居リマス、其他航空機ノ救難取締規定及ビ特殊ノ事項ニ關スル委任立法ノ範圍等ニ付テ規定ヲシテアルノデアリマス、第七章ニハ罰則ノ規定ガアルノデアリマス、是ガ本案ノ大要デアリマス、尙ホ各章若クハ各條ニ付テノ説明ガ必要デアリマスレバ、説明者ヲシテ説明致サセタイト思ヒマス

○説明員(神田純一君) 第一條ハ航空機ノ定義ヲ舉ゲタノデアリマス、人ノ乗レル氣球、航空船、及ビ飛行機ヲ謂フノデアリマス、是ハ航空ニ關シマスル所ノ國際條約ニ同様に規定ヲ舉ゲテ居ルノデゴザイマス、氣球ノ中ニハ無論自由氣球ト繫留氣球ヲ包含シ、飛行機ノ中ニハ陸上飛行機ト水中飛行機ヲ含ンデ居ルノデアリマス、第二條ハ飛行機ノ國籍ヲ定メタノデアリマス、日本臣民カ又日本法令ヲ設立シタ法人デアルトカ、或ハ日本ノ國、又ハ公共團體ガ持ッテ居ルモノトカ、或ハ前ノ法人以外ノ法人ニシテ日本法令ニ依リ設立シ、其代表者ノ全員ガ日本臣民タルモノト云フヤウニ、船舶法ト同ジヤウナ趣意デ出來テ居リマス、第三條ハ軍用航空機及ビ國ノ使用シマスル所ノ航空機ニ付キマシテ、本法ノ規定ノ特殊ノ事項ニ付テ例外ノ規定ヲ設ケタノデアリマス、第四條ハ條約又ハ之ニ準ズベキモノニ別段ノ規定アルトキハ其規定ニ從フ、是ハ一般ノ法則ニ基キマシテ斯ウ云フ規定ヲ定メマシタ、航空機ニ關シマスル條約ハ、常設航空委員會ト云フモノガ國際條約ヲ設ケテアリマス、其ノ常設航空委員會デ終始航空條約ノ修正ナドヲヤッテ居リマス、サウ云フ點ヲ豫想致シマシテ此第四條ノ規定ガアルノデアリマス、第二章ハ航空機ノ検査及ビ登録ニ關スル規定デゴザイマシ

テ、此五條デハ航空機ノ製造中及ビ製造後ニ、製品ニ付テ行政官廳ノ検査ヲ受ケルト云フ規定デアリマス、此製造後ノ検査ト云フコトハ、餘程困難ダサウデアリマシテ、ソレデ特ニ製造中ニ検査ヲ致スコトニナツテ居リマス、船舶者ノ方デハ唯船舶所有者ガ自己ノ便宜デ製造中ニ検査ヲ受ケルトニナツテ居ルデアリマスガ、此法案ニ於キマシテハ原則ト致シマシテ製造中ニ於テ検査ヲ受ケルトニナツテ居リマス、併シ外國カラ輸入致シマシタヤウナ航空機ハ、製造中ニ検査スルコトハ出來マセスカラ、ソレデ第二項ニ堪航證明書ナキ航空機ノ所有者ハ、其ノ航空機ニ付キ行政官廳ノ検査ヲ受ケルト云フノ製造中ニ検査スルノデナクシテ、製品ニ付テノ検査ヲ受ケルデアリマス、航空機ノ検査ヲ致シマスルト堪航證明書ヲ交付スルノデアリマス、此堪航證明書ト云フモノハ、航空機ノ安全ト云フコトニ付テノ一ノ證明書デアリマス、航空機ガ航空スルニハ、是非之ヲ持ッテ居ラナケレバナラヌノデアリマス、六條ニハ堪航證明書ガ效力ヲ失フ場合ヲ規定シテアリマス、第七條ハ航空機ノ登録ニ關スル規定デアリマシテ、國際條約ニ依ッテ航空機ニハ一定ノ登録標識ト云フモノヲ付ケルコトニナツテ居リマス、其登録標識ト申シマスノハ、船舶ノ船名標識ト同ジヤウナモノデアリマス、ソレデ此本案ニ於キマシテモ、特ニ航空機ノ登録ニ依ッテ標識ト云フモノヲ定メル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、八條ハ、堪航證明書ヲ返シ場合ノ規定デアリマス、第九條ハ、検査ヲ受ケ登録致シマシタ航空機ハ、其ノ國籍記號、登録記號及ビ所有者ノ氏名名稱及ビ住所ヲ表示スル規定デアリマス、例ヘバ日本デ申シマスレバ「ジエー」ト云フ字ヲ書ク、登録記號ハ國ニ依ッテ色ノ記號ノ表示方ハ違ハマスルガ、例ヘバ日本デ申シマスナラバ「アル」フアベツト」ノ初ノ四文字ヲ以テ其登録標識ト定メルト云フヤウニナツテ居リマス、其航空機ガ滅失破壊シタルヤウナ場合ニ、誰ノ航空機デアルト云フコトヲ表示致シマスヤウニ、其所有者ノ氏名稱住所ヲ金屬板デ表示シテ置クト云フコトニ條約デナツテ居リマス、ソレニ對照致シマシテ此案デモサウ致シマシタ、第十條ハ航空機

ハ前ニ申シマシタ堪航證明書及ビ登録證明書ヲ備付ケナケレバ、航空シテハナラナイ、詰リ其ノ國籍ガ明カニナリ航空機ガ安全ト云フコトガ明カニナツタモノデナケレバ、航空シテハナラナイト云フ規定ガアリマス、第十一條ハ航空機ノ検査ノ規定ガゴザイマス、第十二條ハ航空機試驗ノ爲ニ飛行場デ飛バヤウナ場合、又ハ保安上飛行場外ノ地面デアツテモ大シテ影響ヲ及ボサヌ、即チ命令ヲ以テ定メルヤウナ場所デ、航空スル航空機ニ對シマシテハ、五條ノ第一項、二項、及ビ十條ノ規定ハ除外スル、即チ航空機ノ検査ヲ受ケルトカ及ビ試驗ノ爲ニ飛行場又ハ命令ヲ以テ定ムル場所ニ於テ航空スルモノハ、堪航證明書、登録證明書ヲ備付ケヌデ飛ンデモ差支ナイト云フ規定デゴザイマス、第十三條ハ、検査トカ登録トカニ關スル規定ハ先キニ申シマシタ各條以外ニ命令ヲ以テ定ムル事ガ出來ルト云フ規定デゴザイマス、第十四條ハ航空機ノ製造中ニ検査ヲ致シマスルシ又製造後ニ於テ制限禁止ノ件ヲ規定シタノデアリマシテ、其検査ノ結果航空機ノ安全ヲ保障スルコトガ出來シ場合ハ、航空機ノ使用ノ制限、停止又ハ禁止ヲ命ズルコトヲ得ル、サウ云フ場合ニハ、堪航證明書ニ制限事項ヲ書クトカ、或ハ停止ヲ命ゼラレタルトキハ、停止中堪航證明書ヲ領置シテ、飛ブコトガ出來ナイノデアリマス、第三章ハ、乗員、即チ操縦者ニ關スル規定デ、操縦者ハ技倆證明及航空免狀ヲ有スルコトヲ要スルノデ、一定ノ試驗ニ合格シテ、技倆證明書ヲ貰ヒ、又航空ニ付テ航空免狀ヲ要スルコトヲ、此第十五條、第十六條ノ規定デ定メテ居ルノデアリマス、サウシテ航空機ノ堪航證明書、登録證明書ヲ持タヌ者ハ、飛ブコトガ出來ナイト同ジヤウニ、此技倆證明書ヲ持ッテ居ラヌケレバナラヌ、即チ技倆ガアルコトヲ證明サレテ居ラヌ者ハ、飛ベナイ、技倆證明書、航空免狀ヲ提携シナケレバナラヌト云フコトヲ規定シテアリマス、又其乗員ニ對シテモ、検査ヲ行フ必要ガアリマシテ、其検査ハ操縦技術ニ付テノミナラズ、身體ノ検査ヲモ致シマス、ソレハ十八條ノ規定デゴザイマス、其次試驗飛行ヲ致シマス場合ハ、登録證書、堪航證明書ヲ持タヌ者デモ飛ベル、又検査ヲ受ケナイ飛行機デモ一定ノ場

合デハ飛ベルト云フコトヲ規定シ、又操縦者免狀ヲ持ッテ居ラヌデモ、技倆證明書ヲ持ッテ居ル者ハ、定ツタ場所ニ於テ運航演習ノ爲ニ飛ブコトガ出來ル餘裕ハ認メテ居リマスガ、操縦航空スルコトガ出來ヌカラ、其餘格ヲ認メル爲ニ此第十九條ノ規定ガゴザイマス、第二十條ハ其乗員ノ就業制限、又停止禁止ヲ命ズル場合デゴザイマス、第四章ハ飛行場及其經營者ニ關スル規定デアリマス、第二十一條ハ飛行場ノ設置及區域變更、其他公共用ニ供スル飛行場ヲ廢止セムトスル場合ハ一切行政官廳ノ許可ヲ受ケル趣意ヲ明カニシタノデアリマス、私用ノ飛行場モ、廢止スル場合ハ第二十一條ハ何事モ規定シテアリマセヌガ、是ハ私用飛行機ハ個人ノ使用ニ使フノデアリマスカラ、其飛行場ノ廢止ハ其飛行場ノ經營者ガ自由ニシテモ差支ナイ、唯監督上、整理上必要ガアレバ施行規則ニ依ッテ届出デノ義務ヲ有テバ宜イト云フ趣旨デアリマス、廢止ニ付テハ特ニ公共飛行場ノ場合ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケルノデアリマス、第二十二條ハ公共用飛行場經營上ニ對スル設備ノコトヲ規定シタノデアリマス、第二十三條ハ公共ニ使用スル飛行場ノ經營者ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケナケレバイカヌ、又其飛行場ヲ他ノ目的ニ使用シテハイカヌ、立派ニ公共用ニ供スル性質ニ基イテ居リマス、第二十四條ハ飛行場ノ境界ヨリ外方五百「メートル」ノ區域内ニ航空ノ障礙トナルモノガアレバ、飛行場ノ經營者ニ對シテ必要ナル航空標識ノ設置ヲ命ズルノ規定デゴザイマス、是ハ航空ノ國際條約ガアリマス、詰リ飛行機ハ離陸著陸ノ場合ハ一定ノ場所ヲ限リテ離陸著陸スルニ危險物ガアルトキハ、離陸著陸ヲ妨ゲマスカラ、一定ノ區域内ニ於ケル障礙物ニ對シテハ、之ヲ除去スルコトヲ規定シテ、其權限ヲ行政官廳ニ與ヘタノデアリマス、第二項第三項ノ規定ハ飛行場經營者ガ航空標識ヲ設置スル場合ニ障礙トナル物件ヲ除去シタリ、又障礙ノ土地又ハ物件ヲ使用スル權限ヲ附與シテ、其事業ニ便セントシタノデアリマス、第二十五條ハ第二十四條ノ趣意ニ依ッテ損害ノ起ツタ場合ハ其損害ヲ賠償スル規定デアリマス、第二十六條ハ軍用航空機ハ第二十四條第二項、第三項、及前案ノ規

定ヲ適用スルコト云フコトデアリマス、軍用飛行機ニ付テハ一般ニ此法案ノ條項ノ適用ヲ除外シタノデアリマシテ、軍用飛行機ハ詰リ前ノ二十四條、二十五條ニ規定シテアル事實ガ起ツタモノデアリマスカラ、特ニ二十六條ノ規定ヲ設ケタノデアリマス、第二十七條ノ規定モ公共用飛行機デハ一般ニ離陸著陸ノ自由ヲ認メネバイカヌノデアルカラ、他人ノ運航スル航空船又ハ飛行機ニ對シテ其飛行場ニ離陸著陸ヲ拒ンデハナラヌ、緊留氣球ナドガ其附近ヲ飛ンデ一般ノ航空機飛行機ノ航行ヲ障礙シテハナラヌト云フノデアリマス、又實際サウ云フ必要ガアリマス、ソレデ飛行機航空船ト書イタノデアリマス、第二項ノ規定ハ公共用飛行場經營者ガ他ノ飛行機ノ離陸著陸ニ對シテ使用料ヲ請求スル場合ハ、自由ヲ保障スル趣旨カラ使用料ノ類ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ又認可ヲ受ケナケレバ使用料ヲ請求シテハナラヌト云フ趣旨デアリマス、第二十八條ノ規定ハ私用飛行場ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケナケレバ他人ニ之ヲ使用サセテハナラヌト云フ規定デゴザイマス、私用ノ飛行場デモ行政官廳ノ許可ヲ得ナイデ飛行場經營者ハ飛バシテモ差支ナイヤウデアリマスガ、私用飛行場ハ飛揚ノ程度ヲ認メテ認可シテ居リマスカラ、無責任ニ他人ノ飛行場ニ自由ニ飛ンデ來ルコトハ、一般保安ノ上ニ障礙ガ少クナイノデ、ソコデ二十八條ノ規定ヲ置イタノデアリマス、第五章ハ航空及運送ニ關スル規定デアリマス、第二十九條ハ航空船及飛行機ハ一定ノ場所ヲ定メテ、場所ヲ變ヘテ飛ンデハナラヌ、又其處ヘ著陸シテハナラヌ、是ハ他人ノ航空ノ爲メデアリマス、已ムヲ得ヌ場合ニ行政官廳ノ許可ヲ得ル場合ハ宜イガ、サウデナイ限リハ陸上デハ飛行場以外、或ハ水上デハ特ニ禁止スル場所離陸著陸シテハナラナイ云フ規定ヲ定メタノデアリマス、陸上ハ水上ト之ヲ區別シマシタノハ、少シオカシイヤウデアリマスガ、詰リ水上デハ飛行シ得ベキ場所ガ餘程廣イノデ、港灣ミタヤウナ船舶ノ輻輳スル所ヲ避ケレバ、アトハ何處ヘ飛バシテモ差支ナイガ、陸上ハサウデナイ、何處カラ飛バシテモ宜イ譯デアリマセヌ、從ツテチヨット是ハ矛盾シタヤウナ書キ方デアリマス、第三十條ハ

故ナク皇居、禁苑等ノ上空ヲ運航シテハナラナイ、第二項ハ前項ニ掲グル場所ノ外航空ニ關スル制限又ハ禁止ヲ必要トスル場所ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定メルト云フ規定デゴザイマシテ、三十條ノ第一項ノ方ハ申スマデモナク不敬ニ當ルコトデ、又刑法ニ於キマシテモ住宅侵入ノ罪及ビ不敬ノ罪ノ中ニ斯ウ云フ規定ガアリマス、ソレト同ジ形デソレト肩ヲ並ベルヤウナ規定ヲ置イテアリマス、二項ノ規定ハ皇居禁苑等ノ場所デナクシテ、或ハ火藥庫デアルトカ、或ハ瓦斯「タンク」デアルトカ、石油倉庫ト云フヤウナ所ニハ飛行機ガ落チテ來マスト云フト非常ナ危險ガアルノデアリマス、ルカラシテ、サウ云フヤウナ危險物件ノ上空ノ航空ハ、命令ノ定ムル所ニ依リ航空ヲ制限シ又ハ禁止スルト云フ趣旨デアリマス、第三十一條ハ戰時事變ニ際シテ航空機ノ航空ヲ禁止スルト云フ規定デゴザイマシテ、是モ申スマデモナイコトデアリマス、國防或ハ警察上ノ取締ノ必要ニ基クノデゴザイマス、第三十二條ハ外國ノ航空機ハ行政官廳ノ許可ヲ得ナケレバ日本デハ飛バサレナイト云フ趣旨ヲ規定シタノデアリマス、是ハ唯今問題ニナツテ居リマス、國際航空條約ガ御批准ニナリマシタ上デハ、唯無條約國ノ飛行機ニ適用セラレルト云フコトニ自然ナツテ居ルノデアリマス、第三十三條、第三十四條ノ規定ハ關稅上ノ取締又ハ軍機ノ保護トカ、或ハ警察上ノ取締ノ爲ニ定メタル所ノ規定デゴザイマス、第三十五條、第三十六條ハ、日本航空機ノ運送ヲ保護スルコト云フ所ノ趣旨カラ、或ハ又航空營業ト云フモノヲ取締ルト云フ趣旨カラ定メタ規定デゴザイマス、第六章ハ雜則ノ規定デアリマシテ、三十七條デハ航空標識ノ用地トカ或ハ公共ノ用ニ供スル飛行場ノ用地トスル土地及ビ水ノ使用ニ關スル權利、其他土地ニ關スル所有權ニ付テノ規定デゴザイマシテ、是ハ詰リ飛行機ノ飛行場ト云フモノハ非常ニ廣イ面積ヲ要スルノデアリマシテ、普通ノ飛行場ト改メマシテモ、十五万坪二十万坪ト云フ土地ガナイト云フト、飛行場所ト云フモノヲ造ルコトガ出來ナイノデアリマス、隨テ斯ウ云フ規定ガゴザイマセヌト云フト、飛行場ヲ造ルコトガ非常ニ困難デアリマス、

又飛行場ヲ造ラヌト云フコトハ飛行機ノ進歩ノ上ニ非常ナ障害ニナリマスカラ、特ニ斯ウ云フ趣旨ノ規定ヲ定メタノデアリマス、三十八條ハ個人ガサウ云フ飛行場ヲ造リマスル場合ニハ非常ナ負擔デアリマスカラ、一方ニ於テハソレカラ得ル利益ハナイノデアリマスカラ、サウ云フ土地ハ地租ハ免除シテヤルト云フ規定デアリマス、三十九條ハ關稅法規ヲ飛行機ノ航空ノ場合ニ適用スルコト云フ規定デアリマス、四十條ノ規定ハ矢張り關稅ニ關スル特別ノ規定デアリマス、四十一條、四十二條ハ檢疫ニ關スル規定デゴザイマス、四十三條ハ航空機ガ遭難イタシマシタ場合ニ水難救護法ヲ準用スルコト云フ、是ハ矢張り國際條約デモ同ジヤウニナツテ居リマス、第四十四條ハ列舉シマシタ各事項ニ付テ命令ヲ以テ必要ナ規定ガ出來ルト云フ規定デゴザイマス、四十五條、四十六條ハ當該官吏ノ職權ノ執行ニ必要ナル規定デゴザイマス、四十七條ハ此規定ハ朝鮮臺灣ニモ適用セラレルト云フ趣旨デアリマス、ルガ、朝鮮ニ於キマシテハ、土地收用ト云フモノハ、土地收用法ト云ハズ土地收用令ト云フ制令デ出テ居リシ、地租ノ如キモ之ヲ地稅ト申シテ居リマス、或ハ水難救護ニ關スル水難救護法ノ如キモ、向フデハ水難救護令ト云フ制令ノ形式デ出テ居リマス、ルカラ、三十七條第二項、三十八條、四十三條ノ朝鮮臺灣ニ於テ運用スルニ對シテハ四十七條ノ規定ガアルノデアリマス、第七章ハ罰則ノ規定デアリマシテ、罰則ノ規定ニ付キマシテハ、他ノ色關係法規トノ鈞合ヲ保タセタノデアリマスガ、特ニ罰金ノ規定ニ付テハ、著シク他ノ罰金刑ニ比シテ金額ガ多イヤウデアリマスガ、是ハ司法省ノ方トモ協議シテ、現時ノ事實ニ徴シテ一般ニ高クナツタト云フ所カラ金額ヲ多クシナイト處罰ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フノデ、司法省ノ御意見ヲ以テ罰金ノ金高ハ餘程高クナツテ居リマス、大體ノ説明ヲ申上ゲマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 此際委員諸君ニ御諮リ致シマスガ、委員外デアリマスガ、東郷男爵ガ御質問サレタイト云フコトデアリマスカラ、御許申シテ宜カラウト思ヒマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○男爵阪谷芳郎君 質問ハ全部デスカ

○委員長(伯爵柳原義光君) 一章ヅ、ヤリマスカ

○男爵阪谷芳郎君 最初ニ全部ヲ願フテハ

○委員長(伯爵柳原義光君) ソレデハ何處デモ全部

御質問ヲ願ヒマス

○湯淺倉平君 斯ウ云フ順序ニ願フテハ如何デスカ、

極大體ヲ願フテ、遂條ト願フテハ長クナリマスカラ、章

グラキデ

○委員長(伯爵柳原義光君) ソレデハ大體ノ御質問

ヲ先ヅ先キニ致シマシテ、其後、章ニ分ツテ詳細ナ御

質問ニ移リタイト思ヒマス、其順序ヲ以テ御質問ヲ

願フコトニ致シマス、唯今ハ大體ノ御質問ノ時期デ

アルト御承知ヲ願ヒマス

○男爵藤井包總君 此航空法案ハ亞米利加デモ英國

デモ此案デ差支ゴザイマセヌカ

○政府委員(山梨半造君) 元來航空條約ガ英吉利ノ

條例ヲ楯ニ取リマシテ多クハ作ツテアリマスノデ、隨

テ此日本ノ航空法案モ英吉利ノ條例ニ非常ニ能ク似

テ居ル所ガアルノデアリマス、主トシテ條約ニ依テ

居リマスルノデ、各國モ殆ド同一ノモノニナルダラ

ウト斯ウ思ウテ居リマス

○湯淺倉平君 此法案ノ理由書ニ依リマスルト、航

空事業ノ助長ノ爲ニト云フ事ガ一ツノ理由ニナツテ

居ルヤウデアリマスルガ、大體法案ノ條項ニ付テ見

マスルト、助長ト云フ點ニ付キマシテハ僅カニ第二

十四條ノ航空標識設置ノ爲ニ他人ノ土地ニ立入ルコ

ト、或ハ土地收用法ノ適用ガ出來ルト云フヤウナ條

項ト、或ハ三十八條ノ地租ノ免除ト云フ位ナ點ダケ

デアツテ、他ニ餘リ大シタ點ガナイヤウニ見受ケラレ

マシテ、却テ非常ナ嚴重ナル取締ヲ受ケ、非常ニ重イ

制裁ガ付イテ居ルヤウニ考ヘラレマスガ、全體其外

ニ尙ホ此獎勵助長ト云フ趣旨ガアルノデゴサイマセ

ウカ、陸軍ノ豫算ニ付テ見マスルニ云フト民間航空機

ノ操縦者養成ノ爲ニ外國人ノ教師ヲ僱フト云フヤウ

ナ費用ガ計上サレテ居リマスガ、民間ノ飛行機ノ製

作ヲスルトカ、或ハ飛行場ヲ設ケルトカ云フヤウナ

テ特別ノ獎勵ヲスルト云フヤウナ御考ハアリマセヌ
デゴザイマセウカ、チヨット錯雜イタシマシタガ一ハ
法案ノ上ニ助長ノ點ガ私ノ御尋ネシタ廉以外ニアリ
マスカ、今一ツハ民間ノ飛行機ノ製作工場ノ設置等
ニ補助ヲヤルトカ、飛行機ノ特殊ノ獎勵ヲスルトカ
云フヤウナコトヲシテ此事業ノ獎勵ヲナサルト云フ
ヤウナ御考ハアリマセヌノデアリマセウカ

○政府委員(山梨半造君) 助長ト云フコトニ付テ

ハ、此法案ニハ今申上ゲタダケノコトデアリマスガ、

此法案ガ決マリマシテ日本ノ飛行機、日本ノ飛行機

操縦者ト云フヤウナモノガ決定イタシマスルト自然

ニ其補助ノ問題ニ獎勵助長ガソコデ出來ルコトト思

ヒマス、ソレカラ今度ハ此補助ノ方デアリマスガ、之

モ今ノ所デハ全ク如何ナルモノガ日本ノ飛行機、如

何ナルモノガ操縦者ノ資格ヲ備ヘテ居ルト云フヤウ

ナコトガ決ツテ居リマセヌカラ、之ヲ今具體的ニ補助

シ又獎勵スルト云フコトガチヨット困難デアリマス、

此法案ガ決マリマシテ、本ガ決ツタナラバ、自然ニ其

コトガ出來テ來ルト思ヒマス、例ヘバ日本ノ飛行機

トシテ一ノ運送事業ヲナスト云フヤウナコトガアリ

マシタナラバ、航空補助法ヲ設ケルトカ云フヤウナ

コトガ自然ニ出來テ來ルト信ジテ居リマス、我々モ

其コトハ考ヘテ今研究中ニ屬シテ居リマス

○男爵東郷安君 唯今湯淺君ノ御尋ネノコトニ付テ

私モ伺ツテ見タイト思ヒマス、唯今御答ヘニナリマシ

タ所ハ民間ノ航空運送業其他營業ヲナサムトスル者

ガアルナラバ、當局者ニ於テ之ニ對スル補助法案ト

カ云フモノヲ制定スルト云フヤウナ御趣意ノヤウデ

アリマスガ、サウデナクシテ、此法案ガ通過シタナラ

バ、早速ニ是等ノモノヲ指導シ啓發スル爲ニ其法ヲ

御出シニナツテ、民間ノ營業者ヲ指導スルト云フ御趣

意デアリマスカ

○政府委員(山梨半造君) 今申シマシタノハ、目下

ノ所デハ日本ノ飛行機ト云フモノガマダ分ツテ居ラ

ヌノデ、詰リ國籍ト云フモノガアリマセヌ、例ヘバ日

本ノ船ト云フヤウナモノガ決定シナイノデアリマ

ス、此本ガ決リマスレバ、此本ニ依ツテ漸次起ル所ノ

事業竝ニ工場トカ、學校トカ又補助トカ云フ様ナコ

トガ自然ニ湧イテ來ルコトハ信ジテ居リマスルデ、
其企業者ガナクモ我々ハ航空獎勵法トカ、發動機
ノ獎勵ト云フヤウナコトヲ、致シタイト今研究イタ

シテ居リマス

○湯淺倉平君 此法案ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ

定ムト云フコトニナツテ居リマスガ、遠カラズ御施行

ニナルト云フ御考デアリマセウカ、一面ニ此條約ノ

方ノ御批准ガ済ミマシタナラバト云フヤウナコトモ

アラウト思ヒマスガ、御見込ハ御批准ニデモナリマ

シタナラバ、サマデ遠クナイ中ニ御施行ニナルト云

フ御見込デアリマスカ

○政府委員(山梨半造君) 御批准後ニハ直チニ之ヲ

施行シタイト思ウテ居ルノデアリマス、ソレハ我々

ノ考ヘル所ハ、若シ此法案ニシテ實行ガ出來マセヌ

ナラバ、取敢ヘズ此取締規則ト云フモノハ之ニ應ジ

マシテ作リマシテ、サウシテ取締ノ方法ダケハ立テ

タイト思ウテ居リマス

○湯淺倉平君 サウ致シマス、是ハ大正十年度ニ

ハ先ヅ順調ニ進行スレバ實施ニナルベキモノト考ヘ

マスガ、一面ニ於テ此間飛行機ノ發達ヲ獎勵スルト

云フ施設ガ餘リ急ニ出來ナイヤウニ見エマスガ、其

點ハ如何ニモ遺憾ニ思フノデアリマスガ、是ハ意見

ニナルカモ知レマセヌガ、私ハモウ少シ民間ノ飛行

機ノ御獎勵ヲ願ヒタイト云フ趣旨カラ御尋ネヲシテ

居ルヤウナ譯デアリマス、是ガ施行ニナリマシテモ、

十年度ノ豫算ニハ一向民間飛行機ノ發達ヲ助長獎勵

セラレルト云フヤウナ經費ガ計上セラレナイノハ、

誠ニ遺憾ナ感ジガ致スノデアリマス、何ダカ此法案

ガマダ決ラナイカラ其方法ガナイト云フヤウナ御説

明デアリマスケレドモ、一面ニハ法律ノ制定、一面ニ

ハ豫算ノ方ニ御要求ニナルト云フヤウナコトニ骨ヲ

折ツタラト云フヤウナ感ジガ致スノデアリマス、モウ

是ハ質問ト云フ譯デアリマセヌケレドモ之ダケ一

言申上ゲテ置キマス

○政府委員(山梨半造君) 我々モドウカサウ致シタ

イト實ハ計畫シタノデアリマスガ、財政上或ル點ニ

於テ之ヲ許シマセヌデ、十分ノコトガ出來ナカタノ

ハ、我々モ遺憾ニ思ツテ居リマス

○男爵阪谷芳郎君 此法律ガ決リマスト云フト、造

船規程ノヤウナモノガ矢張り飛行機製造規程ト云ヒ

マスカ、サウ云フ風ノ飛行機トカ、或ハ發動機ノ製造

規程ト云フヤウナ、造船規程ト云フヤウナ随分細カ

イ規則ガアリマスカ、又飛行場ナリ航運事業ノ經營者ト

ノデアリマスカ、又飛行場ナリ航運事業ノ經營者ト

云フモノニ付テモ、飛行場ヲ設ケル時ニハドウスル

トカ云フヤウナ、學校ナラ學校デ又適當ナ規則ト云

フヤウナモノデモ拵ヘルノデスカ、別ニ此法律以外

ニハ詳シイ規則ハナイノデスカ

○政府委員(山梨半造君) 少クモ検査規程ダケハド

ウシテモ直グ設ケネバナラヌト思ヒマシテ、是ハ既

ニ研究ヲシテ居リマス、他ノ方ハマダソコ迄實行ハ行ッ

テ居ラヌノデアリマス、之カラ漸次研究スルト云フ

運ビニ致シタイト思ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 法律ハ是デ決定ニナリマシテモ

此施行上ニ付テ若シ之ヲヒドク嚴重ニ明文ノ通りニ

デモ實施スルト云フコトニナルト、今ノ湯淺君ノ問

ト同ジヤウニナルカ知レマセヌガ、民間ノ乗ル人モ、

亦機械モ、亦學校モ甚ダ不完全ノモノデ、皆ヤット今

成立チカ、ツタモノヲ、此法律ノ爲メニ滅却シテ仕舞

フト云フヤウナコトニナルノハ、甚ダ遺憾ニ思フノ

デアリマスカ、ソコラハ初メハ寛大ニ實施スルト云

フヤウナ御考デモアルノデスカ

○政府委員(山梨半造君) 今申マシタ通り、本法律

ガ成立イタシマシテ愈々實行スルト云フ迄ニハマダ

歲月ヲ要スルコト、思フノデアリマスカ、ソレ迄ハ

取締規則デ多少緩和シテ、ソレデ實行シタイト斯ウ

云ウテ居リマス

○男爵阪谷芳郎君 此民間航空事業ガ盛ニナラヌト

造リ出スコトガ出來ルト云フヤウナ製造力ヲ養ハニ

ヤナラヌト思ヒマス、サウスルニハ、ソレヲ民間ニ軍

隊ノ外ニ色々利用スル途ガ開ケナクテハ困ルコト、

思フノデアリマス、然ルニ船デアリマスト云フト、

船ヲ以テ商品ヲ搬ブトカ、人ヲ運ブトカ云フヤウナ

色々儲カル手數ガアルノデアリマスカ、航空機ノ方

ニハ是ガ儲カルト云フ如クニナル迄ニハマダ非常ニ

時日ヲ要スル、例ヘバ郵便ヲ運ブト云フコトニ付キ

マシテモ、ヨソノ國デハ行ハレテ居ルケレドモ、日本

デハマダ中々通信省ノ當局者ト雖モ躊躇シテ居ラル

ルト云フヤウナ有様デアリマスカ、中々餘ホドノ

獎勵ヲ加ヘナケレバ、民間事業トシテ發達セヌダラ

ウト思ヒマス、ソコヘ持ッテ行ッテ、今湯淺君ノ問ハレ

ルヤウニ、法律デ益々嚴重ニナリ、一方ニハ民間ノ事

業トシテ相當ノ收益ヲ得ラル、ト云フ目的ヲ達スル

迄ニハ、前途遠イタルト、到頭民間ノ航空事業ト云

フモノガ成立チ得ナイ、成立チ得ナイト云フコトニ

ナルト、今日大砲小銃ヲ製造スルノハ、陸軍ノ砲兵工

廠ニ限ラレテ居ルトカ云フヤウナコトニナッテ仕舞

フト、到底航空業ノ爲メニ甚ダ遺憾ノ結果ヲ見ルニ

至ルデアラウト云フコトヲ虞レルノデアリマスカ、

私モ湯淺君ニソコガ同感デアリマスカ、一方法律

ヲ嚴重ニセラル、ト同時ニ、民間ニ成ベク製造力ナ

リ又飛行場ナリノ成立シ得ル方法ヲ十分ニ御考ニナ

ルト云フコトガ、矢張り國防上ノ一大緊要ナルコト

ニ考ヘルノデスカ、既ニ支那ニ於テハ、是ハ何レ支那

ノ政府ノ獨力バカリデハナイノデアリマセウガ、北

京ト上海ノ間ニ郵便航路ヲ開クト云フヤウナコトガ

行ハレムトスルカノ如クニ新聞ニ見エテ居リマス、

セメテ我國ニ於テモ極東ニ於テハ、今日迄文明ノ先

日本ノ飛行機等ノ規格モ決マリ、操縦者ノ資格モ決

マルト云フコトニシマシテ、危險ノ度合ガ無クナリ

マシタナラバ、此ニ航空補助法案等ノ設定モ出來得

ル事ト思ヒマス、ガ如何ニモ今民間デ此運送ノ企圖

等ガアリマスルガ我々カラ考ヘテモ甚ダ困難ナヤウ

ニ思フノデスカ、其一端ヲ舉ゲマスルト云フト、例ヘバ

此獎勵トシテ陸軍ノ練兵場ヲ貸シテ離陸場著陸場ニ

シテ吳レロトカ云フヤウナ、極クドウモ簡易ニ、極ク

マア危險ト云フコトヲ少シモ願慮セヌト云フヤウナ

コトガ多イノデアリマスカ、一ツハ此法律ガア

リマシテ飛行場ト云フモノハドウ云フモノダト云フ

ヤウナコトガ分ッテ居リマセヌト云フト、此企畫等モ

著實ノモノモ或ハ出來ヌカト思ッテ居ル次第デアリ

マス、又一方カラ見マスト云フト、此工作ノ點ニ付キ

マシテモ、民間ノ事業ハ頗ル不振デ、發動機ノ如キモ

ヤウヤット一會社ガ製造シ得タノデアリマスカ、其

會社モ到頭破産スルト云フヤウナコトデ、目下此發

動機ヲ民間デ造ルト云フヤウナコトモ、甚ダ絶望ノ

狀態ニアリマスルノデ、陸軍トシテ、又海軍トシマシ

テモ、斯ウ云フ民間ノ狀態デハ困ルト云フコトカラ

シテ、先ヅ確實ナル製造所ガ出來ルコトヲ切望イタ

シタノデ居リマス、又ソレガ爲メニ多少指導ノ致サ

ウト云フ考デ、此等會社ノ企畫者ヨリ其必要ナル職

工ヲ今集メマシテ、之ヲ教授シテ居ルト云フヤウナ

コトデアリマス、デ此等ガ愈々其工場ヲ造リ、先ヅ陸

海軍ノ註文ニ應ジテ其工作ガ漸次熟練イタシテ、サ

ウシテ會社デモ愈々多數ノ能率ヲ發揮シ得ルヤウニ

ナリマシタ曉ニ、初メテ此飛行機モ多少廉ク出來、又

安全ナルモノガ出來ルヤウニナルダラウ、一方又此

民間ノ幼稚ナル飛行機ニ對スル思想モ其時分ニハ漸

次發達シテ、其機械ヲ應用シテ又飛ビ得ルヤウニナ

ルジヤラウト斯ウ思フノデコザイマス、デ其時分迄

ニハ此航空機補助法案等モ出來ルナラバ、ソコデ此

案ノ發展ニ遺憾ナキ資料ヲ得タイト斯ウ當事者ハ思

ッテ居ル次第デアリマス

○男爵東郷安君 私人民間ノ飛行事業ヲ主トシテ伺

ッテ置キタイノデアリマスカ、唯今御説明ノ通り、

中々民間デ飛行事業ガ實際ニ發展スルコトハ稍々遠

キ將來ノヤウニモ伺ハレマスガ、大體ニ於テ今日カラ其基礎ヲ造ツテ置クコトハ必要ト考ヘマス、ソコデ先ヅ飛行機ノコトニ付テ伺ツテ見タイノデスガ、例ヘバ陸軍デ軍用自動車補助法案デ、軍用自動車ノ規格ヲ定メ、之ヲ標準トシテ相當補助ヲナサルコト云フコトニナツテ居リマス、飛行機ニ於テモ陸海軍ヲ通ジテ希望スル所ノ規格ヲ定メテ、之ニ準ズルモノニハ相當ノ補助ヲスルト云フヤウナコトハ、御考ヘニナツテ居リマセウカ

○政府委員(井上幾太郎君) 今民間ニ對シテ陸軍デヤツテ居リマスノハ、補助検査規格ヲ定メテ其規格ニ合ツテ者ニヤルト云フ方式デナイ、陸軍デ設計ヲシテサウシテ其飛行機ヲ造ラシテ、サウシテソレヲ相當ノ會社ノ立行ク値段デ買フテヤツテ、會社ヲ獎勵シテ居ルノデアリマス、斯ノ如クニシテ段々民間ガ自カラ飛行機ヲ造ルヤウニナレバ、先キニナツタラバ唯一般ノ要求點ヲ與ヘテ、サウシテ民間ガ飛行機ヲ自カラ設計シ、自カラ造ルヤウニナルダラウト思フガ、今ノ所デハ中々一般ノ要求ヲ與ヘテソレニ應ズル飛行機ヲ勝手ニ拵ヘテ行ク、斯ウ云フヤウナコトハ今ノ所デハ到底ナラヌ、又實際ニ陸軍ト雖モ中々ソレヲヤル事ニハムツカシイコトデアアル、今ノ處デハ陸海軍ガ自カラ設計シ、自カラ良イト信ジテ飛行機ヲソレヲ造ラセ、サウシテ検査ヲシ、検査ト云フテモ實ハ工場ノ指導デアリマス、全部行ツテ、教育ヲシテヤツテ、サウシテコトヲ要求スルモノヲ造ラセル、斯ウ云フヤウニシテ行クノデアリマス

○男爵東郷安君 飛行機操縦者ノコトニ付テ尙ホ其點ニ關聯シ伺ツテ置キタイト思ヒマスガ、ドウモ陸海軍等ニ於テ特ニ御養成ニナル以外ニ於テ、民間デ此操縦者ヲ秩序のニ完全ニ養成スルコトハ中々困難デアラウト思フ、又我々ノ希望トシテハ、成ルベク民間ニ於テ航空業ノヤウナモノヲ實現スルコトハ望ムノデアリマスガ、先ヅ以テ外國ノ飛行士ヲ日本ノ飛行機ニ乗セテ、サウシテ内地ノ航空業ニ從事サセルト云フコトハ出來ヌ方法デアリマスガ、斯ウ云フヤウナ場合ニ於テ特ニ是ハ御認可ニナリハシナイカ、如何デアリマセウカ

○政府委員(山梨半造君) 今申ス通り日本ノ飛行機其モノガ未ダ規格ガ決ツテ居リマセヌ、未ダソコマデ實ハ行ツテ居ラス、ソレヲ日本ノ工場デ造リマシテモ工場ガ今自カラ試乗スルコト云フコトハ出來ヌ位デアリマスカラ、セメテ是等ノ人員デモ造リタイト思ヒマシテ、此航空局デ民間飛行者ヲヤツテ今年ハ十名デアリマシタガ、ソレヲ養成シテ充テヤウ、連モ今日日本ノ幼稚ナル飛行機製作場デハ到底コノ外國人マデ雇ツテ、ソレニ高イ俸給ヲ拂フテ、ソノ外國人ヲ利用シテ造ルト云フヤウナマダ大規模ノモノガ出來テ居ラヌ、デアリマスルカラ、先ヅ日本人デ造リマシテ日本ノ人ガ試乗シテサウシテ、其工場デ造ツタモノヲ、是ハ飛ブニ大丈夫デアルトカ、飛ブニ危險デアルトカ云フヤウナコトヲ、出來ルダケ調べテ見タイト思ツテ居リマス、從ツテ今年十名ヤリマシタ、ノミナラヌ來年度ニモ更ニソレヲ擴張シテ其人員ヲ造リタイ、斯ウ思ツテ豫算ニ請求シテアル次第デアリマス

○男爵東郷安君 御話ヲ伺ヒマシテ、我々誠ニ感謝スル譯デアリマスガ、サウ云フヤウナル遅々タル進歩ヲシナケレバナラヌヤウナ内外ノ事情ニナツテ居リマスルト、茲ニ外國カラ日本ノ領土ヘ航空連絡ヲ致シタイト云フ希望ノモノガ出來テ來ルヤウナ場合、例ヘテ申シマスレバ、今ノ支那ニ於テ亞米利加ノ會社ガ航空事業ヲ營ンデ居ル、サウスルト、ソレヲ更ニ延長シテ日本内地トモ連絡ヲ致シタイト云フヤウナ希望ノモノガ出來、若クハ「バンドレー」ペーヂ、ノ如ク日本ノ内地ニ於テ航空事業ヲ經營シテ見タラドウ云フモノガ出來ルダラウ、既ニ計畫マデシテ居ル會社モアルト聞イテ居リマス、サウ云フ場合ニ於テ我々國民トシテハ暫ク國籍ノコトヲ度外視スレバ、ナルベク早く航空事業ノ實際ニ現ハレルコトヲ希望スルノデアリマス、サウ云フ時ニ當局トシテハドウ御考ニナリマスガ

○政府委員(山梨半造君) ソレハ成ルベク日本ノモノヲ以テ日本内地ヲ飛行サセルノガ趣旨デ此法案ガ出來テ居ルノデアリマス、ドウカ其方面ニ向ツテ人民ノ欲望ハ或ハソコカモ知レマセヌガ、併シ殘念ナガラソレヲ以テ獎勵シテヤルト云フ當事者ニハ勇氣ハ

アリマセヌ、先ヅ日本ノ航空ノ事ニ付テ一番我々ノ焦慮シテ居ル所ハ、此航空路ノ設置ト云フモノガナケレバ如何ニヤツテモ航空ハ出來ヌノデアリマス、此設置ヲ第一ニシナケレバナラヌト思ツテ今實ニ焦慮シテ居リマシテ、此航空路ノ偵察ニ全力ヲ注イデ居ル次第デアリマス、其偵察ガ終リマシテ、其費用ガ随分掛ルノデアリマスカラ、ソレガ一時ニ出來ルト云フコトハ餘程困難デアラウト思ツテ居ル、此點ガ一番私ハ日本ニ取ツテドウモ焦慮スベキコトデハナカラウカト思ツテ、今デハ考テ居ル次第デアアル、セメテ此間ニ定期航空ガ早く出來ルヤウニシナケレバナラヌト思ツテ居ルノデアリマス、ソレモ中々今ノ所デハ困難デアアル、併シ其設計、其實行ニ付イテ決シテ等閑ニ附シテ居ル次第デアリマセヌ、著々其歩ヲ進メテ居ル次第デアリマス

○男爵東郷安君 航空路ノ御話ガ出マシタカラ序ニ伺ヒマスガ、先達ツテ長官ノ御話ヲ伺ツタ時ニ國際航空路ト云フ文字ヲ用ヒテ海外連絡ノ航路ト云フモノニ對スル航空權ノ設定ヲシテ置クト云フコトハ必要デナイノデアアルカト云フ御尋ネヲシマシタガ、其點ニ付イテ御意見ガ承ハレマセヌカ、如何デセウカ

○政府委員(山梨半造君) 是ハ既ニ日本内地ハ、如何ニ詰リ航空路ノ詰リ、何ト申シテ宜シイカ、一番ノ主ナル線、主線ヲ定メマシテ、サウシテ此主線ヲ外國ノ線路ニ結び付ケルト云フヤウニシタナラバ、自然ニ茲ニ國際航空航路ガ設置セラレルモノト私共ハ信ジテ居リマシテ、其目的ヲ以テ今偵察シ其目的ヲ以テ今研究シツ、アルノデアリマス

○男爵阪谷芳郎君 今東郷男爵カラノ御尋ネニ關聯シテ居ルヤウデアリマスガ、此航空法ガ出來マシテモ、外國カラ輸入スル航空機トカ、又外國人ガ外國カラ輸入シタ航空機ヲ日本内地デ飛行スルコトハ禁ジタノデナイノデスカ、ソレハ禁ゼラレタノデアリマスカ

○説明員(神田純一君) 條約ガ出來マスト云フト、外國ノ運航證明書ヲ有ツテ居ル飛行機ハ自由ニ飛ベルコトニナリマス、條約ノ批准ガアリマセヌマデハ、

此法律ニ依リマシテ、行政官廳ノ許可ヲ得ナケレバ
飛ブコトガ出來ナイノデアリマス

○男爵阪谷芳郎君 ソレナレバ今東郷男爵ノ御尋ハ
差支ナイコトデアラウト思ヒマスガ、例ヘバ日本ノ
航空機ニ保護金ヲ與ヘルコトガ出來タ場合ハ、外國
カラ輸入シタモノハ貫ヘナイ、唯此航空機ダケナラ
宜イガ技術證明書ハ萬國條約デ行ツテ居レバ必ズ是
ハ行政官廳デモ許スコトニナツテ居ル、外國ノ飛行機
ガ輸入シテ來テ、ソレガ乗リ歩クノヲ禁ズル譯ニイ
カヌ

○政府委員(山梨半造君) 此法律ガ發布サレテ、批
准ニナツテ條約ニナレバ無論出來マス、船ト同ジコト
デアリマス、私ハ唯ソレデ以テ日本人民ニ航空機ノ
思想ヲ注込ミ、又之ヲ以テ獎勵スルヤウニ承リマス
ガ、ソレニハ當事者ハソレマデノ勇氣ガ無イト申シ
タ次第デアリマス

○男爵東郷安君 私ハ先刻申シヤウガ惡カッタノデ
アリマスガ、唯今阪谷男爵ノ御問ヒノ通りニ伺ツテ居
リマス、ソレデ先程ノ御話ノ通り、ドウモ日本ノ飛行
界ハ斯ウ云フ有様デアリマシテ、支那サヘモ段々ア
ア云フ工合ニ發達シテ居ルノデアリマス、ソレデ英
吉利、亞米利加ノ會社ガ斯ウ云フ航空事業ノ申込ヲ
シテ來ルコトハ考ヘナケレバナラス、其時日本ノ觀
念ハソレデハイカヌ、跳付ケテ仕舞フ積リカ、ソレト
モ相當ノ條件ヲ具備シテ居レバ許スカ、ドウカト云
フコトヲ、伺ツタノデアリマス

○政府委員(山梨半造君) ソレハ拒絕スルコトハ出
來マセヌガ、要スルニ日本ハ今ノ有様ト致シマシテ、
外國人ガ來テ、詰リ飛行場マデ設ケテヤルト云フコ
トニ付テハ、一體國威ニ關係スルコトデアリマスガ
ラ、サウ云フコトハ批准ガ實施イタシテ、日本ノ港ヘ
外國ノ船ガ來ルト云フコトデアレバ、私ハ無論是ハ
異存モ無ク、又サウデナケレバナラスト思ツテ居リマ
ス

○男爵東郷安君 國際航空條約ノ中ニ、航空機ニ依
リ沿岸貿易ヲ各國ガ獨占スルコトヲ得ルト云フコト
ヲ原則ト認メテ居リマスガ、唯今御尋ノコトハ、是等
ノ原則ハ差控ヘテ、外國ノ起業者ハ之ヲ默認スルト

云フ所マデ御考ニナツテ居リマスカ

○政府委員(山梨半造君) 默認ト云フコトハ、私ハ
ドウシテモソレハ今、目下、日本デハ出來ヌト思ヒマ
ス、併シ外國ノ船ガ早く日本ノ港ニ來テ、サウシテ外
國貿易ヲスルコトガ出來ルト、私ハ申シタノデアリ
マス

○男爵東郷安君 モウ一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマ
スガ、我國ニ於テハ要塞地帶ガ各所ニアル、且ツ又日
本ノ地形ハ極メテ細長イ爲ニ將來航空路ヲ設定シ、
空中行動ヲ致シマス場合ニ於テハ、餘程此軍用機以
外ニ於テハ要塞地帶ヲ避ケル爲ニ種々ナ不便ヲ生ズ
ルノデ、ソコデ我々ノ希望ト致シテハ、相成ルベク實
際要塞地帶トシテ上空ヲ飛行スルコトヲ嫌フ土地ハ
暫ク論外ト致シマシテ、或ル地點ヲ中心トシテ、何哩
以外ニ現ニ廣イ意味ニ於テハ要塞地帶ノ中ニ這入
リマスガ、第一區、第二區、第三區ト假ニ距離ガ隔タ
ルニ從ツテ地帶ヲ區別シタモノナラバ、第三區ノ地帶
ニ於テハ相當宥恕シテ戴カヌト、將來餘程困難ナ場
合ガ生ジマスガ、是ハ實例ヲ申シマス、東京カラ釜
山ニ飛行スル時ニ、下ノ關ニ著陸シテ、福岡ニ行ク、
サウ云フコトハ甚ダ將來航路ノ上ニ不便ヲ生ズルノ
デアリマスガ、ソレハ何等カ緩和スルヤウニ要塞地
帶ノ取締規則デ宥恕セラルル御考ヘニナツテ居リマ
スカ、ソレヲ伺ツテ置キマス

○政府委員(山梨半造君) 要塞地帶、即チ航路ノ第
一區デアリマスガ、第一區ヲ開放シテ、サウシテ此便
宜ヲ與ヘルト云フコトハ餘程難儀ナ仕事デアリマス
第一ノ區域ニマデモ外國ノ飛行機ヲ入レルト云フコ
トハ我々ハ避ケタイト思ツテ居リマス、從ツテ朝鮮カ
ラ日本内地ニ航空路ヲ設定イタシマスニシテモ、餘
リ損デナク、サウシテ要塞ノ地帶ノ眞上ヲ飛バズ、ソ
レガ出來得ルヤウニ思ツテ今ノ航空路ヲ設定シテ
居ルノデアリマス、空中線路デアリマスカラシテ、サ
ウ損ラセズニ此航空路ハ決定ガ出來ルダラウト思ツ
テ居リマス

○男爵阪谷芳郎君 此飛行機航空船ノ製造力ヲ盛ン
ニスル爲ニハ資本ト知識ヲ必要トスルトカ云フコト
ハ素ヨリデアリマスガ、其資本ト知識モ今日日本ニ於
テハ甚ダ缺乏イタシテ居ルノデ、殊ニ航空事業ニ付
テハ資本ガ甚ダ危險ニ感ジテ居リマス、又學術上ノ
知識モ甚ダ日本ニハ堪能ノ人ガ少ナイ、サウ云フ場
合ニハ將來資本モ知識モ日本ニ航空事業ガ出來ル場
合ニハ、今度ノ航空法ノ第二條ノコトモ規定サレテ
差支ナイコトデアラウト思ヒマスケレドモ、現在ニ
於テハ成ルベク廣ク世界ノ資本ト世界ノ航空上ニ對
スル知識ヲ日本ノ幼稚ナル航空界ニ利用スルト云フ
コトハ、誰ガ考ヘテモ必要ト思フノデアリマス、然ル
ニ此第二條ノ如クニ、取締役モ日本人民デナケレバ
ナラス、代表者モ日本人民デナケレバナラスト決メ
ルト、外國ノ資本家若クハ外國ノ知識アル者ヲ取締
役、代表者トシテ利用スル事ガ出來ナイ、出來ストナ
ラバ、ソレダケ日本ノ航空業ノ發達ヲ阻止スルト云
フ結果ヲ來タシハセヌカト考ヘルノデアリマスガ、
此取締役ノ全員トカ若クハ代表ノ全員ト云フモノニ
幾分カ外國ノ人ヲ加ヘテモ宜シイト云フ制限ヲ設ケ
テハ如何ナル不都合ガアルノデゴザイマセウカ、少
シ逐條ニナルカ知レマセヌガ、大體ニ關スルコトヲ
一ツ御尋イタシマス

○說明員(神田純一君) 此航空機ノ國籍ヲ定メマス
ルコトハ、國際條約ノ委員會デモ餘程問題ニナツテ居
ルヤウデアリマシテ、佛蘭西ノ委員ノ如キハ、單ニ技
師ノミデナクシテ株主マデモ、資本マデモ本國ノモ
ノデナクテハナラスト云フコトデアリマシタガ、結
局ドウモ資本マデ國籍ヲ明カニスルコトハ出來ヌカ
ラトノコトデ、少クモ代表ノ三分ノ一以上ガ其本國
政府ノ下ニアル者デナケレバナラス——航空機ノ國
籍ヲ取得スルニ付テハ、三分ノ二以上ガ本國政府ノ
下ニアル者デナケレバ其航空機ノ國籍ヲ取得スルコ
トハ出來ナイト云フコトニ條約ガナツテ居リマス、此
法案ヲ作りマス場合ニモ、條約ト同ジヤウニ三分ノ
二ヲ標準トシヤウト云フ論ガアッタノデアリマス、航
空機ノ突然ノ侵入ト申シマスガ、サウ云フコトハ國
防上ニ於テモ危險ガアル、ダカラ成ルタケ狭ク制限
スル方ガ宜カラウト云フコトデ、船舶法ト同ジヤウ
ナ調子デ代表者ノ全員ガ日本臣民タルコトヲ要スル
方ガ宜カラウト云フコトデ、斯ウ云フコトニ致シマ

シタ

○男爵阪谷芳郎君 其國防上ノ必要ト云ウテ見タ所
ガ、最モ大ナル會社ガ出來テ成ルベク知識ガ十分ニ
日本ノ國有トナルト云フコトガ國防上一番必要ナ
トニ考ヘラレルノデアリマスガ、此取締役ノ中ニ多
少外國人ガ居ツタ所ガ、國防上ノ秘密ノ漏レルト云フ
コトハナイ様ニ考ヘラレル、又若シ外國ガ會社ヲ通
シテ秘密ヲ探ラムトスルナラバ、會社ノ從事員トナ
ルトモ、或ハ技師トナルトモ、探ル、探偵ヲ入レル途
ハ幾ラモアルノデアリマスカラ、サウシテ見ルト、矢
張り「ヴェルサイユ」條約ノ第七條ニ依テ三分ノ二以
上ト云フ制限位カラ始メテ成ルベク資本ナリ知識ナ
リヲ日本ニ取込メ、而シテ後ニ十分ニナツタ所デ或
ハ全員デナイデハナラヌト云フヤウナ制限ヲ設ケラ
レル方ガ至當ノヤウニ素人ガ見ルト考ヘラレルノデ
スガ、別段ドウモ危險ハナサ、ウニアルガ、更ニ御尋
イタシマス

○政府委員(井上幾太郎君) 是ハ最初立案ノ時ニハ
非常ニ此問題ハ議論ヲシタノデアリマシテ、詰リ國
際條約ノ三分ノ二ト云フコトニスルカ、或ハ船舶法
ノ通り全員トスルカト云フコトニ付テハ大分研究シ
タノデアリマス、兎ニ角危險性ト云フコトハ、航空機
ニ於テハ要塞ノ上ハ通ラヌト云フテモ、要塞ノ上ヲ
是デ或事故ノ爲ニ通ツタト云ハレ、バモウ仕方ガナ
イモノデアリマス、而カモ一逼要塞ノ上ヲ通レバ殆
ド其要塞ノ設備ハ分ツテシマウト云フ様ナ、餘程危險
ガ多イ、ソレハ船ノヤウナモノデハナイ、サウ云フコ
トカラシテ、大事ヲ取ツテ是ニハ全員トスル、斯ウ云
フ趣旨デアリマス、全ク國防上ノ見地カラ大事ヲ取
ラウト云フ趣旨デアリマス、他ニ別ニ理由ハナイノ
デアリマス

○男爵阪谷芳郎君 國防上大事ヲ取ラレルノハ尤モ
デゴザイマスクレドモ、併シ取締役ガ必ズシモ要塞
ノ上ヲ通ルト云フ譯デモナササウニ思ヒマス、矢張
リ若シサウ云フ事ヲヤラウトスレバ、技術者ナリ從
業員ナリ、何トデモ名ヲ匿シテ、サウシテ違法ナ事ヲ
ヤツテ探ルト云フコトハ、是ハ出來得ルコトデア
ル、會社ノ取締役ヲ全員トセザレバ危險ガ多イト云フコ

トハ、ナササウニ思ハレル、是等ハ多少或ハ意見ニ走
ルカ知レマセヌガ、能ク又政府ノ方デモ御考ヘテ願
テ、若シ差支ガナイノデアレバ成ルベク資本ナリ知
識ナリハ十分ニ利用ノ出來ルヤウニシテ、而シテ其
知識ナドガスツカリ日本ニ這入ツテシマツタ後ニ、又何
カ缺點ガアレバ御取締リニナルコトガ宜カラウヤウ
ニ考ヘラレマスガ、唯今ノ御説明デハ少シク足りヌ
カト思ヒマスノデ、ソレダケノ意ヲ述ベテ置キマス
○男爵坂本俊篤君 我國ノヤウニ現今航空業ノ幼稚
ナ際ニ、種々煩瑣ナル検査上ノ規定アリ又ハ嚴重ナ
ル取締等ガ設ケラレルコトハ、却テ航空業ノ發達ヲ
妨ゲハセヌカト云フコトハ、諸君ト感テ同ジウスル
ノデアリマスガ、殊ニ罰則ノ如キハ隨分或ハ嚴重ニ
過ギズヤト思フヤウナ節モアリマス、英國ノ爰ニ御
示シノ例アタリヲ見マシテモ、罰則ノ如キハズツト手
輕ニ出來テ居ルヤウニ思ハレル、サウ云フヤウナ點
ハ、如何ニ御考ヘニナリマセウカ、又一般公衆ノ保安
ト云フコトニ付テハ、却テ何等ノ御規定ヲ見ナイヤ
ウデアリマスガ、飛行機ノ著陸等ノ際ニハ、是マデ海
外等ニ於テモ隨分色々ナ危險ヲ醸シタ例モアリマス
帝國ニ於テモ左様ナ例ガ一二アツタヤウニ心得テ居
リマス、公衆ノ保安ト云フ方ニ付テ、是等ノ設ケノナ
イノハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(山梨半造君) 此罰則ニ付キマシテハ、
其意ノアル所ハ我々ヨリ御説明申上ゲルヨリハ、是
ハ司法省ノ委員ヲ御出シテ願ヒマシテ御質問ヲ願ヒ
マス、却テ其方ガ間違ガナクシテ説明ガ出來ルダラ
ウト思ヒマス
○委員長(伯爵柳原義光君) 如何デスカ、此際司法
省ノ政府委員ヲ呼ビマセウカ
○男爵坂本俊篤君 イヤ、ソレハ先キヘ行ツテ逐條ノ
時ニ：

○政府委員(井上幾太郎君) 唯今坂本男爵ノ取締檢
査ガヤカマシク見エルト云フ事ニ付テ御答申上ゲタ
イト思ヒマス、飛行機ノ製造ノ検査、或ハ航空ノ方法
ノ取締ノ如キモノハ、現ニ是ハ陸海軍デハ此通りニ
ヤツテ居ルノデアリマス、民間デハ取締ト云フ事ガナ
イカラ、東京市ノ上ヲ三百「メートル」位デグン

飛ンデ居ルト云フ、甚ダ不都合ナ事ヲヤツテ居ルガ、
之ヲ取締ル方法ガ何モナイ即チ危險モ餘計アル、飛
行場ニ於テモ例ヘバ五百「メートル」デナケレバ飛行
場ノ出發點ニ旋回スルコトハナラヌト斯ウナツテ居
リマシテ、陸海軍ハ立派ニヤツテ居ツテ危險ヲ逃レテ
居リマスガ、民間デハソレヲ何モセヌカラ始終危險
ガ頻發スルト云フヤウナコトガ起ルノデアリマス、
ソレカラ飛行機ノ製造検査デゴザイマス、是等モ陸
海軍ガ製造シテ居ルモノハ皆此通りニシテ現ニ製造
シテ居ルノデアリマス、之ヲ民間ニ及ボシテヤルト
云フコトハ、成程造ル方カラ云ウタラ或ハ多少煩瑣
ヲ感ズルカ知レマセヌガ、又航空者ガ、ソレニ依ツテ
安全ガ保證セラレルト云フコトニ付テハ非常ナ便宜
ヲ得ルヤウニナルノデアリマス、條文トナリマス、
エライ、アチラデモコチラデモ縛ツタヤウニ見エマス
クレドモ、實行ノ上カラ見ルト、サウ縛ツタモノデハ
ナイノデアリマス、先キニ湯淺君カラノ御質問ガア
リマシテ、何等獎勵補助ヲシテ居ラスデヤナイカト
云フコトモアリマシタガ、例ヘバ飛行場ヲ造ルニ付
テ土地收用ガ許シテアルト云フヤウニ非常ナ便宜ガ
與ヘテアル、ソレカラ飛行機ニ關スル製造ヲヤルニ
付テハ、餘程此法律ニ依ツテ補助セラレルヤウニ感ジ
テ居リマス、併ナガラ法律其モノハ保障ヲ目的トシ
タ保障デナシニ規則ニ違ツタモノヲ取締ルト云フノ
ガ、法律ノ趣旨デアリマスレバ、是レバカリヲ御讀ミ
ニナルトサウ見エマスガ必ズシモサウデナイノデア
リマス、ソレカラ此公衆ノ安全ト云フコトハ附則條
文ニ決ツテ居リマスカラ、何レ施行規則ニ依ツテ出來
ルヤウニナツテ居リマス、ソレニ依ツテ公衆ノ安全ヲ
保障スルヤウニナラウト思ヒマス

○男爵藤井包總君 唯今ノ公衆ノ安全ト云フコトデ
アリマスガ、之ヲ爲サルニ於テハ此發着ノ位置ヲ陸
上ノヤウニ御設ケニナルコトニナリマスカ
○説明員(神田純一君) サウデゴザイマス、飛行機
ノ取締規則ガ出マスルカラ、ソレニ於テハ何百「メー
トル」ノ下ヲ通ルコトガナラヌトカ、飛行場ニ於テド
ウ云フ行動ヲ取ルコトハナラヌト云フヤウニ、正シ
イ行動ヲ取ラセルノデアリマス

○男爵藤井包總君 唯今ノ公衆ノ安全ト云フコトデ
アリマスガ、之ヲ爲サルニ於テハ此發着ノ位置ヲ陸
上ノヤウニ御設ケニナルコトニナリマスカ
○説明員(神田純一君) サウデゴザイマス、飛行機
ノ取締規則ガ出マスルカラ、ソレニ於テハ何百「メー
トル」ノ下ヲ通ルコトガナラヌトカ、飛行場ニ於テド
ウ云フ行動ヲ取ルコトハナラヌト云フヤウニ、正シ
イ行動ヲ取ラセルノデアリマス

○男爵藤井包總君 港ナドデヤルヤウニ、陸上ニ於テ或便利ノ地點ニハ飛行機ノ發着スル場所ガナケレバ、將來飛行機ガ發展スル上ニ即チ航空ト云フコトニ不便デアラウト思ヒマス、サウ云フ場合ハ國トシテ相當ノ規定ヲ御設ケニナラナケレバナラヌダラウト思ヒマス、斯ウ云フヤウナコトノ御考ハゴザイマセヌカ

○說明員(神田純一君) 航空路ニ當ル所ハ飛行者ニハ無論圖ニマデ書イテ、世界各國交換スルコトニナツテ居リマス、ソレカラ其飛行場ニ於ケル特別ナル標識モイタシマスシ、主モニ違フトキハ飛行場ノ發着ノ際ニ起リマスカラ、飛行場デ發着ヲ保障スル標識ヲ付ケテ、ドツチカラ出テ何處ニ著陸スル、何處ニ止ルト云フ色々ナ標識ヲシテ、丁度港ノ標識ノアルヤウニ飛行場ニモ標識ヲスルト云フコトニナリマス

○男爵藤井包總君 飛行機ノ發着スル場所ハ狹隘ノ場所デハナリマス、アレハ廣サニ極リガアリマセウカ

○說明員(神田純一君) 飛行場ノ決リハアリマセヌガ、自然ト決ツテ來ルノデアリマス

○男爵藤井包總君 マダソナコトハ出來テ居ラヌデスゾ、出來テハ居リマセヌガ、將來サウ云フ御設備ヲナサル御積リデアリマスカ

○說明員(神田純一君) サウデス

○男爵東郷安君 唯今ノ御問ノ中ニ第三十條ノ如キ皇居其他ノ場所ニ於テハ「メートル」以下ノ航空ヲ禁ズト云フコトガアリマスガ、最近紐育ニ於テハ上空五百「メートル」以下ヲ禁ズルト云フ法案ガ出タト思ヒマス、我が此法文ヲ御定メニナルニ、道路ニ關スル航空制限ト云フコトヲ御定メガナカッタカ、ソレヲ承リタイ

○說明員(神田純一君) 是ハ取締規則ノ方デ決メルツモリデアリマス

○男爵東郷安君 先刻來御尋ネ致シテ置キマシタ中ニ、種々外國ノ色々ノ例ヲ申上ゲマシタガ、私共全部ニ付イテ知ツテ居ル譯デアリマセヌガ、若シ航空局ノ御方ニ御分リニナリマシタナラバ、各國ニ於テ現ニ經營シテ居ル航空事業ハ、何人ノ經營ニ依リ如何ナ

ル保障ヲ以テヤツテ居ルノデアルカ、其經營ノ要領ヲ表ニシタヤウナモノガ御調ガアルダラウト思ヒマスガ、サウ云フコトヲ他日デ宜シウゴザイマスガ、參考ノ爲ニ見セテ戴ク譯ニ參リマセヌカ

○政府委員(山梨半造君) ソレハ調ベタモノガアリマスルノデ、早速贈呈シマセウ

○湯淺倉平君 私モ東郷サンノ御希望ト關聯シテ居リマスカラ要求イタシタイト思ヒマスガ、日本ノ現在ニ於キマシテ民間デ飛行機ノ製作ヲヤツテ居ル、或ハ會社ナリ或ハ個人ナリノ工場、ソレカラ飛行場ヲ持ツテ居ル場所トカ其經營者、ソレカラ民間飛行家ノ數ト云フヤウナモノヲ、唯今デナクテモ宜シウゴザイマスルガ、御調ベニナツテ居リマスモノガアリマスルナラバ、頂戴イタシタイ

○政府委員(山梨半藏君) 製作場、飛行場、飛行者ノ數是レダケデ...

○湯淺倉平君 左様デス

○政府委員(山梨半造君) 是ハ這入ツテ居リマセヌノデスガ、モウ一ツ若シ飛行ノ學校等ノコトモ設カツテ居リマスガ、サウ云フ材料ヲ總テ加ヘテ出スコトニ致シマス

○男爵東郷安君 總テヲ御出シニナルナラバ申シマセヌガ、湯淺君ノ御話ニナツタ製作能力ニ付テ御調ベニナツタモノガアリマスナラバ...

○政府委員(山梨半藏君) 出來得ルダケ...

○男爵坂本俊篤君 唯今我々ガ御尋ネテ致シマシタ事柄ニ付テ、色々此邊デ取締規則ニ依ツテ定ムルト云フ御答デアリマシタガ、是等ハ成ルベク我々ノ考ヲ決メル上ニ於テ承知イタシタイノデアリマスガ、ソレハモウ既に草案デモ御決マリニナツテ居ルト云フコトデアリマスカ、之ヲ拜見スルコトノ出來ルヤウニナツテ居リマスカ

○政府委員(山梨半造君) 取締規則ハ最早脱稿イタシテ居リマス、是ハ御覽ニ入レ得ルコトト思ヒマス

○湯淺倉平君 私モ丁度坂本男爵ノ御尋ネニナリマシタヤウナ件ニ付イテ御尋ネイタシタイト思ヒマスガ、全體ニ互リマシテ命令ノ規定ニ讓ラレテ居ル箇條ガ澤山アルヤウデアリマスガ、是ハ悉ク御進ミニ

ナツテ居ルカドウカト云フコトニ付テハ疑ツテ居リマスノデアリマス、出來テ居リマスモノニ付キマシテハ、取締規則ニ限ラズ他ノ草案モ頂戴出來マスナラバ頂戴イタシタイ、若シ又其程度ニ達シテ居リマセヌ様デアリマシタナラバ、隨分數ガ澤山アルヤウデアリマスカラ、逐條審議ノトキ、各條ニ付イテ凡ソ當局ノ御胸算ヲ承ハルト云フコトニ致シマシタナラバドンナモノカト考ヘマス、其前半ハ希望デアリマス、ソレカラ後半ハ私ノ一ツノ意見トシテ、他ノ委員諸君ニ御協議ヲ致ス趣意デアリマス

○男爵坂本俊篤君 丁度湯淺君ノ御希望ト同様ナコトニナラウト思ヒマスガ、茲ニ第四十四條ニ命令ヲ以テ規定サレルト云フコトガゴザイマス、我々ハ皆斯ウ云フコトハ新シイ事柄デ何等カ帝國デマダ御決メガナイトスレバ、外國デ決ツタモノデモ宜シイカラスウ云フヤウナモノデアルト云フコトガ同ハレルモノガアルト、大變仕合ト思ヒマス、四十四條ノ一號カラ六號ニ互リマデノ事柄ニ付テ、參考ニナリマスルモノガゴザイマシタナラバ、御示シテ願ヒタウゴザイマス

○政府委員(山梨半造君) 今坂本男爵カラ御要求ニナツタ所ノ先ヅ概略ノ分ツタモノガアリマスシ、サウシテ此附則等ニモ其コトガ書イテアルコトモアリマスカラシテ、サウ云フ事柄ハ附則ノドウ云フ所ニアルコトダト云フコトニ致シマシテ、概略ノコトヲ申上ゲ得ルヤウニ致シテ置キマス、マダ斯ウ云フコトハ實ハ國際聯盟ノ方デ決定セニヤナラス事項モアリマシテ、我が日本バカリデハ決定出來ス事項モアリマスルノデ、我々ガ考ヘテ居リ、又調ベテ居ル範圍ニ於テ御覽ニ入レ得ルダケソレヲ提供シマス

○男爵東郷安君 何分新シイ法案デアリマスルモノデスカラ、私モ一向材料ヲ持チマセヌガ、若シ當局ニ御願ヒガ出來マスナラバ、各國ノ飛行郵便制度ニ付テ御調ベニナツタモノガアリマシタナラバ、拜見サシテ戴キタイト思フ、ソレカラ我國ニ於テ航空運輸事業ヲ行フ場合ニ於テハ如何ナル組織經營、收支計算ヲ以テシタナラバ宜イカト云フヤウナコトニ付テ、航空局ニ於テハ既ニ御考ニナツテ居ラレト傳聞イ

タシテ居リマス、又先刻モ申上ゲタヤウニ「バンドレ
ーピーデ」邊リデモ、日本ニ於テ是等ノ仕事ヲスル場
合ニ於テ、ドウ云フ收支計算ニナルダラウト云フコ
トノ御調モアルサウデスカラ、若シサウ云フモノガ
我ニ拜見ガ出來ルナラバ、後日拜見サシテ戴キタ
イト思ヒマス

○政府委員(山梨半造君) 第一點ニ付キマシテハ、
新シキモノバカリハナイカモ知レマセヌガ、古イモ
ノデモ良ケレバソレヲ混合イタシマシテ提供スルコ
トガ出來マス、第二點ニ付キマシテハマダ迎モ其成
案ヲ得ルマデニハ行ツテ居リマセヌガ、杜撰ナモノデ
モ凡ソ斯ウ云フモノダト云フヤウナコトダケハ、提
供シ得ルモノト思ヒマス

○男爵東郷安君 先般或會ノ席上デ、航空局ノ一局
員カラ、將來日本ニ於ケル民間飛行機ノ發達ノ爲ニ
ハ、水上飛行機ヲ用キル方ガ宜カラウト云フ意見ヲ
御發表ニナリマシタヤウデスカラ、ソレハドウ云フ御
所見デアリマシタラウカ、果シテ當局ニ於テサウ云
フ御考デ將來御進ミニナルノデスカ、其點ヲ一ツ伺
ツテ置キタイ

○政府委員(井上幾太郎君) 日本ハ四面環海デア
ル、海ガ到ル所ニアツテ著陸上廉イト云フヤウナコト
カラ、サウ云フコトヲ申シタノデアラウト思ヒマス、
サウ云フ意見モ屢々聞クコトガアリマスカ、當局ト
シテ水上飛行機ノミニ向ツテ全力ヲ注グト云フコト
ニモ考ヘテ居リマセヌガ……

○男爵坂本俊篤君 本法案ハ隨分箇條モ多ゴザイマ
スシ、且ツ會期モ既ニ切迫ノ折柄デゴザイマスカラ
シテ、成ルベク迅速ニ結了イタシタイト存ジマス、
就イテハ大體ノ質問モモウ盡キタヤウニ思ヒマスカ
ラ、是ヨリ第二段ノ逐條ノコトニ付テ質問ニ入りタ
イト思ヒマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 御諮リ致シマスガ、大
體ノ質問ハ盡キタカト存ジマスルガ、唯今ノ坂本男
爵ノ御意見ノ如ク、是ヨリ逐條ニ入ルヤウニシマス、
御異議ハアリマセヌカ

○湯淺倉平君 大體私モ同感デアリマスルガ、唯今
初メテ此所デ戴イタヤウナ材料モアリマスルシ、新

シイモノデアリマスルカラ、逐條デ御進行ニナリマ
シテ若シ尙ホ大體ニ互ルヤウナコトガゴザイマシタ
ナラバ、其關係ノ箇所ニ於テ御質疑ヲ御許シテ願フ
ト云フコトニ致シマシテ、逐條ノ御審議ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

○委員長(伯爵柳原義光君) ソレデ宜シカラウト思
ヒマス、尙ホ又此逐條ノコトガ濟ンダ後デ、更ニ大體
ニ互ツテ質問ヲ再ビ其機會ニ御繰返シニナツテモ宜シ
イト思ヒマス、ソレデハ便宜上如何デゴザイマスカ、
第一章總則第一條ヲ一ツ……

○湯淺倉平君 サウスルト第一條ノ二項デアリマス
ルガ、私ハ唯文字ニ付テ小サナコトヲ御尋ネイタシ
マスガ、軍艦ノ「デッキ」カラ滑走スルト云フヤウナ場
合ハ、此離陸著陸ト云フ何レニモ關係ガナイヤウニ
思ヒマスガ、ソレハ何レニ這入ルト云フ意味デゴザ
イマセウカ、サウ云フ事實ガナケレバ宜シイガ、若シ
サウ云フ事實ガアリトスレバ……

○説明員(神田純一君) ソレハ本案ノ立案ノ時ニモ
餘程問題ニナツタノデアリマスガ、特ニ軍艦ノ「デッ
キ」ノ上カラ滑走スル奴ハ特殊ノ名稱ヲ以テ説明ス
ルト云フ事モ甚ダ法文ノ體裁ヲ爲サナイカラシテ陸
上ト解釋シテモ、或ハ水上ト解釋シテモ差支ナイト
云フコトニ……

○政府委員(井出謙治君) 陸上ト御解釋ニナツテモ
御差支アリマセヌ

○男爵坂本俊篤君 チョット他ノ問題カラ私ハ疑ヲ
起シタノデアリマスガ、第三條ニ「本法ハ本章」ト申
シマスカラ、第一章ハ矢張り軍用航空ニ適用セラル
ルト斯ウ見テ宜シイノデアリマスカ

○説明員(神田純一君) 左様デゴザイマス

○男爵坂本俊篤君 第一章ダケハ皆軍用デ宜シイト
云フ……

○説明員(神田純一君) 左様デゴザイマス

○男爵坂本俊篤君 私ハ此第一條ニ「航空機トハ人
ノ搭乘シ得ル氣球云々ト斯ウゴザイマスガ、是ハ畢
竟航空機ノ定義ヲ啖ツタモノデアラウト思ヒマス、茲
ニ其人ノ搭乘シ得ルト云フコトニ限定サレタコトハ
是ハ是等ノ航空機ハ必ズ人ガ乗ツテ居ルト云フコト

ヲ豫定サレタノデアリマスガ、將來ノ航空機ニハ必
ズ人ガ搭乘シナクトモ或ハ電波ヲ以テ之ヲ操縦スル
トカ云フヤウナ如キコトモ想像サレルコトデアリマ
スガ、左様ナコトマデ御想像ニナツテ居ラズニ出來タ
モノデアリマスカ、如何デス

○説明員(神田純一君) 左様デゴザイマス、搭乘シ
得ル設備ヲ有ツテ居ル航空機ノミヲ云フ趣旨デアリ
マス、サウ云フモノマデ想像シテ居リマセヌノデゴ
ザイマス

○男爵坂本俊篤君 是ト同様ノ定義ヲ規定シタ、英
吉利ノ航空條例デアリマシタカ、人ノ搭乘シ得ルト
云フ文字ハ態々削ツテアルヤウニ存ジマスガ、却ツテ
是ハ無論ナイ方ガ將來ノコトマデ包含サレテ宜クナ
イカト存ジマスガ、如何デス

○説明員(神田純一君) 是ハ立法ノ様式ニモナイノ
デアリマスシ、條約ニモナイノデアリマス、獨逸ノ航
空法ニハ書イテ居リマス、之ヲ入レマシタノハ風ト
區別スル爲デアリマス、子供ノ持ツテ居ルヤウナ玩具
ノ風ノヤウナモノマデ登録シナケレバナラスト云フ
コトニナリマスカラ、人ノ搭乘シ得ルモノトシテ、サ
ウ云フモノト區別サセルト云フ意味デ入レタノデア
リマス

○男爵坂本俊篤君 此第二號デゴザイマスガ、是ハ
斯ウ云フコトヲ規定シテ置カナケレバ、何カ都合ガ
悪イノデアリマセウカ、航空トハ是レノコトヲ
包含ス、斯ウ云フコトヲ啖ツテアリマスガ、何カ法文
ノ上ニ斯様ナコトヲ致シテ置カナイト、法文上差支
アルノデ設ケラレタノデアリマスカ

○説明員(神田純一君) 航空機ガ滑走イタシ始メマ
スルト云フト、色々ナ取締ヲシナケレバ危險ノ場合
ガアルノデアリマス、ソレデ滑走カラ航空ト認メテ
取締ルト云フコトニ致シタノデアリマス

○湯淺倉平君 第四條ノ「航空ニ關シ條約又ハ之ニ
準スヘキモノ」トアリマス、此之ニ準スベキモノト云
フノハ、是ハ將來ノコトヲ考ヘマスト色々アリマセ
ウガ、只今ノ所デハ航空法ニ關スル條約ノ附則書ダ
ケヲ指シタモノデアリマスカ

○説明員(神田純一君) 條約ノ附則書ハ條約ト同ジ

效力ヲ有テ居ルモノデアリマシテ、之ニ準ズベキモノト云フノハ將來ノコトヲ考ヘタノデアリマス、例ヘバ支那ナラバ支那ト特殊ノ協定ヲスルト云フ場合ヲ想像シタノデアリマス

○湯淺倉平君 サウ致シマスルト只今ハマダ此文字ニ該當スルモノハ現存シテ居ラヌノデアリマス

○說明員(神田純一君) 左様デアリマス

○湯淺倉平君 第二條ノ四號ハドウ云フモノヲ豫想シテアルノデアリマセウカ、ソレカラ序ニ伺ヒマスガ、飛行協會ト云フ如キ民法ノ財團ガサウ云フヤウナモノニナツテ居ルノデアリマセウカ、サウ云フヤウナモノガ此四號ニ當ルトデモ云フ御見込ミデアリマスカ

○說明員(神田純一君) 左様デゴザイマス、三號ハ詰リ商事會社ヲ規定イタシタノデアリマシテ、四號ノ方ハ民法法人ヲ規定イタシタノデアリマス

○湯淺倉平君 此第三條ノ「勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトデアリマスガ、凡ソドウ云フヤウナ事柄ガ勅令ニ規定サルベキ豫定デゴザイマスカ

○說明員(神田純一君) 是ハ實ハ愈々閣議ニ掛ル間際ニ出來タ條文デアリマシテ、内務省ノ警察用ノ航空機ナドニ付キマシテノ意見ガゴザイマシテ、當初ハ軍用航空機以外ノ總テ私有航空機ノ様ナモノハ取扱ハスト云フ立テ方デアッタノデアリマスガ色々研究イタシマスルト、警察用ノ航空機ナドモ矢張り特殊ナル取扱ヒヲナサナケレバナラヌト云フノデ、此二項ノ規定ヲ設ケマシタ、此項號ノ規定ニ依テ定メマスル、勅令ヲ以テ定メマスル規定ニ付キマシテハ、各省共十分ナル聯絡ヲ取ラナケレバナラヌシ、マダ陸軍省ト致シマシテハ確定的ナ考ヲ有テ居リマセヌ、是ハ法制局ノ審議ハ勿論濟ミマシテ、閣議ニ掛ル間際ニ内務省ノ意見ガゴザイマシテ、此規定ガ這入ツタノデアリマス、其内容ニ付キマシテハドウ云フ風ニ規定スルト云フコトハマダ内務省ト協議シテ居リマセヌ、唯、勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトハ、全然警察用ノ航空機ナドニ、是等ノ條文ノ規定ヲ除外スルト云フ趣旨デ、別段ノ規定ヲ勅

令デ定メルト云フノデ、幾分ノ緩和ヲ致シタ積リデアリマス

○湯淺倉平君 サウ致シマスルト、是ハ大體軍用航空機以外ノモノトシテ警察用ノ航空機ト云フコトガ豫想サレテアルノデアリマスガ、又其他ニ航空機ノ種類モ色々御考ヘニナツテ居リマスカ

○說明員(神田純一君) 左様デゴザイマス、税關用ノ航空機、郵便用ノ航空機ノ如キモノモゴザイマス

○男爵坂本俊篤君 此軍用航空機ト云フモノハ普通ノ航空機トドウ云フ具合ニ區別ヲシテ居リマスガ、軍艦ニハ軍艦旗ガアルトカ、又ハ大小ノ銃砲ヲ載セテ居ルト云フヤウナコトガアルガ、航空機トシテハ別ニサウ形ハ違フモノデハナイト思ヒマスガ、何等カ之ニ軍用機トシテ記號等ハ特別ニ御定メニナツテ、是ガ軍用航空機ト云フコトニナルノデアリマスガ、ソレハドウ云フ具合ニ區別サレマスガ

○政府委員(井上幾太郎君) 是ハ特別ノ標識ヲスル筈デアリマスガ、此法律ニハ規定イタシマセヌガ、其方ハ陸軍ハ陸軍デ、海軍ハ海軍デ標識ヲシナケレバナラヌノデアリマス

○男爵坂本俊篤君 サウ致シマスルト、ソレハ例ヘバ何號トカ、或ハ何トカソレノ模様ハドウ云フ具合ニナリマスガ

○政府委員(井上幾太郎君) 今陸軍デヤツテ居リマスノヲ申シマスルト、日ノ丸ヲ附ケテ居ル、羽ノ上ト羽ノ下ト、胴體ノ舵トニ附イテ居リマス、何レノ方面カラ見テモ軍用ダト云フコトガ分リマス、其他機體ノ標識ニ付テハ製造所ノ起工ト製造年月、場所、斯ウ云フモノヲ書クコトニナツテ居リマス

○男爵坂本俊篤君 海軍ノ方ハドウ云フモノデス

○政府委員(井出謙治君) 海軍ノ方モ矢張り同ジヤウニ旗ノ印シト番號位ヲ打ツテ居リマス、イノ何號トカ、ロノ何號トカ云フヤウナコトヲ

○男爵坂本俊篤君 別ニ旗ヲ掲ゲルトカ、サウ云フコトニ外ナラナイノデスカ

○政府委員(井出謙治君) 海軍トシテハ今サウ云フ風ノコトハ考ヘテ居リマセヌ

○政府委員(山梨半造君) 是ハ私ノ考デ、打合セテ

居リマセヌガ、航空局トシテ民間ノモノト分カル爲ニハ矢張り確定致シテ之ヲ公布シ置クノ必要ガアルト認メテ居リマス、マダソコマデ協定ガ行ツテ居リマセヌ

○湯淺倉平君 三號ニ付テデアリマスガ、是ハ先刻阪谷男爵カラ御質問ガ出マシテ、之ニ對スル御説明ハアリマシタガ、其御説明ニ對シテ別ニ反對ト云フ譯デモアリマセヌ、又此原案ヲドウシヤウト云フマデニ考ヘテ居ル譯デアリマセヌガ、質問ニ對スル御答辯ヲ伺ヒマシタ所デハ、矢張り私共モハッキリト疑ヲ晴ラシ得ナイノデアリマス、其譯ハ株式會社ノ株主ハ日本臣民デナクテモ構ハナイト云フ事ニナツテ居リマスノデ、重役ノ一人トカ二人トカ少數ナ者ガ外國人デアツテハナラナイト云フコトガ、ドウモハッキリ致シ兼ねルノデ、何トカ其點ニ付テモウ少シ趣旨ノハッキリ致シヤウナ御説明ハ出來マセヌデゴザイマセウカ

○說明員(神田純一君) 色々是ハ御説ノヤウナ意見モ一部カラハ餘程出タノデアリマス、條約ノ委員會ノ時ノ議論デモ、航空機デ俄ニ國內ヘ侵入シテ來ルコトハ非常ニ國防上ノ脅威デアル、成ルベク是ハ嚴格ニ制限スル方ガ宜イト云フヤウナ趣旨カラ、斯ウ云ウヤウナ規定ガ出來タノデアリマス、條約ニハ少ナクとも理事者ノ三分ノ二以上ハ本國人デナケレバナラナイト云フ規定ガゴザイマス、三分ノ二以上ト云フコトニシテ置ケバ宜イコトデナイカ、相當有力ニ主張サレタノデアリマス、所ガ日本ノ他ノ方面トノ鈞合ヲ見マス、船舶法ノ如キモ矢張り理事者ノ人員ハ日本國籍ヲ取得スル一ツノ要件ニナツテ居リマスカラ、ソレニ鈞合ハスガ穩當デアラウト云フ理由デ、斯ウ云フコトニナリマシタ

○委員長(伯爵柳原義光君) 第一章ノ總則ニ付テ御質問ガゴザイマセヌバ次ノ章ニ進マウト思ヒマスガ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳原義光君) ソレデハ第二章航空機ノ検査及登録、御質問ヲ請ヒマス

○男爵坂本俊篤君 第五條ノ第一項デアリマスガ、先刻御説明ニ依ルト、材料部分品、ソレハ皆部分的

ノ検査ヲスル、尙ホ全體ノ検査ヲスルト云フコトデアリマスガ、ソレハ後ニアリマス製品ニ付テト云フ此字ガ全部ヲ包容シタ所ノ飛行機ヲ指スノデアリマスカ、又茲ニ技功ト云フノガアリマスガ、是ハ技功ト分リニクイ字デアリマスガ、出來ガ良ク出來テ居ルトカ、拙ク出來テ居ルト云フヤウナコトヲ指スノデアリマスガ、兎ニ角モ部分々々ノ検査ヲシ、且又總體ニ出來上ツタ全部ノ検査ヲスル、斯ウ云フコトニ了解シテ宜シイノデゴザイマスガ

○説明員(神田純一君) 技功ト云フノハチヨット新シイ文字デアリマスガ、功ハ仕事ト云フヤウナ意味デスウ云フ文字ヲ使ヒマシタ、條約文ノ英文ノ「ウオークシッ」ト云フ字ガ使ッテアリマス、部分品ニ付キ、又材料品ニ付テ検査シタノミデハ足ラスノデアリマス、組合セノ工合ガ宜イカ悪イカト云フコトモ検査ノ一要目ニナリマス、部分々々材料以外ニ技功ト云フ文字ヲ用キマシタ、此製品ト云フノハ御説ノヤウニ完成品ヲ是デ指シ意味デアリマス

○男爵坂本俊篤君 サウ致シマスルト、是ハドウ云フ工合ニ検査ニナリマスルカ、一ツノ飛行機ガ出來ルトシマスルト、其飛行機ヲ構成スル所ノ各部ノ品質トカ設計トカ云フコトヲ検査スルノデアリマセウカ、見方ニ依ルト何モサウ云フ譯デハナイ、唯其所ニ拵ヘテ居ル、是ハ將來飛行機ノ一部分トシテ使用サレル所ノ材料デアアル、鐵ノ板トカ、針金デアアルトカ、金デアアルトカ、布デアアルト云フヤウナ、サウ云フモノヲ概括的ニ此布ハ宜イトカ此金ハ強イトカ弱イトカ云フコトヲ、例ヘバ倉庫デアレバ倉庫ニ貯藏シテアルモノヲ検査スレバ宜イ、斯ウ云フコトニナルヤウデアリマスガ、是ハドウ云フヤウニ見テ宜シイデセウカ、其見方ハ……

○政府委員(井上幾太郎君) 先ヅ其文字ノ方カラ申シマス、第一設計ヲ見ル、是ハ字デ書イタモノデアリマス、斯ウ云フ形ニ於テ斯ウ云フ種類ノ金ヲ使フト云フコトガアリマス、其次ノ材料ニ付テハ大概一ノモノヲ検査スル、随分材料ト云フコトガ非常ニムヅカシイ問題デアリマシテ、鐵デアレバ宜イト云フ譯ニ行カナイ、鐵デモ相當ニ其處ノ設計ニ該當ス

ル所ノ種類ノモノヲ持ッテ來ナケレバナラス、ドレデモ宜イト云フ譯ニハ行カスノデアリマス、ソレカラ今度ハ部分品ガ出來上ル、其部分品ヲ見テ検査スル、其次ハ其組合セモ、ソレカラ完成品、斯ウ云フヤウニ検査シテ行クノデアリマシテ、飛行機ガ直グ出來上ツタヲ殆ンド検査ハ出來ナイノデアリマス、出來上ツタカラ良イカ悪イカト云フコトハ判定ハ出來ナイ、又言ウテモ分ラヌ、殊ニ乗客用ノ飛行機ニ至ッテハ、乗客ノ安全ヲ保障スルト云フコトハ、ドウシテモ出來上ラス中カラ之レヲ見テヤラナケレバナラスノデアリマス、サウシテ此検査ノ方法デアリマスガ、是ハ今陸軍デ實際ヤッテ居ルノ一々見テ居ル、一々見ナガラ機ヲ一々検査シテ航カヲ測ッテ居ル、是ハ民間ノ方ニ澤山出來ル際ニ一々ソレヲヤルコトハ出來マセスカラ、サウ云フ際ニハ會社ガ自ラヤル、ソレニ對シ中央カラ検査官ガ行ッテ一部ノモノハ本當ニ検査スル、中央ノ工場ハ自ラ検査シテ、検査官ガ検査スル、斯ウ云フコトニナルダラウト思ヒマス

○男爵坂本俊篤君 ドウモ此法文ノ上カラ見ルト、製作者ガ自ラ検査スルト云フコトハ見エマセヌ、必ズ行政官廳ノ検査官ガ出テ、一々之ヲ検査スルト、斯ウ云フコトヨリ外見エナイヤウニナッテ居リマス、尙ホ此検査官ト申シマスノハドウ云フ所カラドウ云フ資格ノ人ガ出テ検査ヲ致シマスガ

○政府委員(井上幾太郎君) 是ハ行政官廳ノ、サウ云フ所ノ詰リ教育ヲ受ケタ人デナケレバナラスノデアリマス

○男爵坂本俊篤君 此ノ行政官廳ト云フ所ハ何處ヲ指スノデアリマスガ、例ヘバ航空局ト云フガ如キモノヲ指スノデアリマスガ、サウ致シマス地方ニナルトサウ云フ譯ニ參リマセヌ、ドウ致シマシテモ此検査ヲスルニハ相當ノ資格ノアル又検査ヲスルダケノ技術モアリ、且ツ之ヲ検査スル所ノ人ノ能力ニ別段大差ナク、何處ソコデハドウ云フ検査デ通ッタトカ云フヤウニ、等差ナドガアッテハナラヌ事ダラウト思ヒマス、此ノ行政官廳ト云フコトト、之ヲ検査スル人ノ資格能力ト云フコトニ付テハ、ドウシテモ茲ニ其統一ノ制度ガナケレバナラヌヤウニ考ヘラレマス、

是ハ大變將來航空界ノ發達ニ重大ナル關係ヲ持チ得ルコトダラウト思ヒマスカラ、此事ハ明瞭ニ致シテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(井上幾太郎君) 此第五條ノ検査ノ方ノ行政官廳、是ハ航空局デアリマス、検査官トシテハ無論其資格ヲ持チ其ノ教育ヲ受ケタ人デナケレバナラス、現ニ航空局トシテモ斯ウ云フ検査官タルベキ人ヲ今日カラ陸海軍工場ニ入レテ、現ニ教育ヲ受ケサシテ居リマス、無論検査官ガ或者ニハ寬ニシ、或者ニ嚴ニスルト云フコトノナイヤウニシナケレバナラスト思ヒマス

○男爵坂本俊篤君 サウ致シマス、航空局ニ付キマシテ是等検査官ヲ各地ニ派遣セシムルト、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ

○政府委員(井上幾太郎君) サウデアリマス、又之ニ検査規格ト云フモノガ決メラレマシテ、其規格ニ據ッテ検査スルノデアリマシテ、全ク此法文ダケデヤルノデハナイノデアリマス

○湯淺倉平君 第五條末項ニ「行政官廳ノ許可ヲ受ケタル航空機」トアリマスノハ、或ハ外國カラデモ來タ航空機ヲ行政官廳ノ許可ヲ受ケルト云フヤウナコトガ、前提ニナッテ居ル譯デアリマスガ

○説明員(神田純一君) 左様デゴザイマス、外國カラ輸入イタシマシタモノデ成品トナッテ居ルモノハ一々検査ヲ受ケルト云フコトニモ參リマセスカラ、行政官廳ノ検査、行政官廳ノ許可ヲ受ケテ堪航證明書ヲ持ッテ居ルト云フ趣旨デアリマス

○湯淺倉平君 本法施行ノ際現在アル航空機デ、用ニ堪ヘズト云フヤウナモノモナイトハ限ルマイト思ヒマスガ、斯ウ云フモノモ矢張り之ニ依ッテ許可ヲ受ケルヤウニナルノデアリマスガ

○説明員(神田純一君) 左様デゴザイマス、ソコヲ區劃シテ置カウト云フコトガ議論ノアッタ所デアリマスガ、立テ方トシテハ此法ノ適用ヲ受ケル、航空用ニ堪ヘルカドウカラ施行期日前ニ見テ居ッテ、施行期日カラ斯ウ云フ風ニシテヤリタイト考ヘテ居リマス

○湯淺倉平君 サウ致シマスルト此命令デ定ムル範

圍ハ此二ツノ種類ダケデゴザイマスカ

○説明員(神田純一君) 此事項ニ付テノ御尋デゴザイマスガ此事項ヲ置キマスモノハ外國カラ輸入シタ場合、又ハ餘程先キコトデゴザイマセウガ、日本ノ飛行機製造所デ外國ヘ輸出スルヤウナ飛行機ヲ製造スル、而モ外國ノ注文ハ日本ノ検査規格ヨリ異タ設計テ注文デモ來タト云フヤウナ場合ニハ、日本ノ検査規格ニ據ッテ検査ヲ受ケルト云フノハ非常ニ不便デアリマスカラ、サウ云フモノハ此事項ノ適用デ検査ヲ除外シ或ハ軍用航空機ハ軍隊ノ方デ検査シテ居リマスカラ、斯ウ云フモノハ無理ニ此方カラ検査スル必要ハナイ、併シ軍用飛行ヲ民間ニ拂下ゲルヤウナ場合ニハ、其場合ニハ一旦軍事用トシテ使用致シマシタモノデスカラ適用ハ致シマセヌ、既ニ軍用航空機トシテ製造スル場合ニ、軍隊デ検査ヲシテ使用シタモノデアリマスカラ強イテ検査ヲスル必要ハナイ、サウ云フモノガ許可ヲ受ケレバ、法ノ適要デ検査ヲ免除シテヤルト云フ趣旨デアリマス

○湯淺倉平君 軍用航空機ハ此第五條ノ適用ハ、第三條ノ規定ニ依ッテ當然五條ノ適用ハナイ譯デアリマスガ、唯今ノ御説明デハ軍用航空機ヲ民間ニ拂下ゲタトシテ拂下ヲ受ケタ者ガ願出レバ行政官廳ハ許可シテヤル、サウシテ検査ヲシナイ、斯ウ云フ御説明デスカ

○説明員(神田純一君) 私ノ唯今ノ説明ガ少シ惡ウゴザイマシタ、取消シマス、軍用航空機ノ検査ハ五條ノ適用ヲ受ケマセヌ、第五條ノ二項ノ適用ヲ受ケル場合ハアリマス、ソレハ軍用航空機ガ民間ニ拂下ゲラレト共ニ、民間航空機トナリマスカラ、五條ノ二項ニ依ッテ検査ヲスルト云フ場合デアリマス

○湯淺倉平君 第六條ノ二デアリマスガ、一體航空機ノ壽命ハドノ位ナモノデアリマスガ、チヨット私共門外漢ニハ分リマセヌガ、三箇月云々ト云フ規定ガアリマスカラ、ソレデチヨット其點ヲ伺フト同時ニ、六條ノ二項ノ後段ノ規定デゴザイマス、有効期間ヲ延長スルト云フコトハ、再三延長ナシ得ルモノト解シテ差支ナイコト思ヒマスガ、サウ云フ譯デスカ

○説明員(神田純一君) 航空機ノ壽命ヲ期間デ定メ

マスコトハチヨット無理ナコトデゴザイマスケレドモ、寧ロ使用時間ヲ定メルコトガ適當デゴザイマスケレドモ、甚ダ取締上困難デゴザイマスカラ、ソレデ六箇月以内ト云フ期間ヲ定メタノデアリマス、サウシテ後段ノ規定ハ御説ノ通り幾度デモ苟モソレガ使用ニ堪ヘレバ其ノ有効期間ヲ延長スルコトガ出來ル、サウシテ航空機ノ壽命ハソレハ機體ト發動機トハ違フノダサウデアリマシテ、機體ハ通常三百九十時間カラ四百時間マデ、ソレカラ發動機ハ二百六十時間位ト云フコトデアリマス、ソレデ詰リ飛行機トシテハ、約三百時間ノ壽命ト適當認メテ居リマス、詰リ發動機ノ一倍半位ナ壽命ガ機體ノ方ニ在ルサウデアリマス

○湯淺倉平君 此第七條ノ規定ハ如何ニモ煩瑣ナ規定ノヤウニ思ハレマスガ、是以上ニ之ヲ省略スル譯ニハ參リマセヌカ

○説明員(神田純一君) 第七條デスカ、各項皆必要ナ規定ト思ッテ居リマスガ、ドウ云フ御意見デゴザイマセウカ

○湯淺倉平君 ソレデハ改メテ伺ヒマスガ、七條ノ二項ニハ「航空機ノ所有者ノ氏名名稱登録記號其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項」ト斯ウアリマスガ、法文ニ掲ゲラレズシテ命令規定ニ讓ラレタ處ヲ見ルト、法文ノ上ニ列記スルニハ餘リニ煩瑣デアルト云フ澤山ナ事項ガ此外ニアルヤウニ解セラレル、チヨット見マシタ處デハ、此法文ニ列ベテアル事柄ダケデ大體宜シクハ無イカト云フヤウナ感ジガスルノデアリマスガ、此以外ニ尙ホ命令デ以テ幾ツカノ事項カラ定メラレテ、サウシテソレヲ登録シナケレバナラス、而モ登録シタ事項ニ變更アル毎ニ、航空機ノ所有者ハ度度變更登録ノ申請ヲシナケレバナラスト云フコトハ、如何ニモ煩瑣ノヤウニ考ヘラレル、若シ斯ウ云フ風ニ伺ッタ宜イカモ知レマセヌガ、其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項「ト云フノハ、一體ドノ位ノ幅ガアルカト云フコトヲ伺ヒマシタ方ガ、宜シイカモ知レマセヌ

○説明員(神田純一君) 實ハドノ位ノ範圍マデ指示カト云フコトハ、色々ナ航空行政ノ方カラ考ヘ得ル

コトト思ヒマス、差向キ事柄ノ分ッテ居ル處デハ氏名名稱、登録記號、其他ニ普通ハ航空機ノ仕様、即チドウ云フ型ノ飛行機デドウ云フ風ニ出來テ居ルモノカ或ハ其飛行機ハ宛モ船舶ノ定繫場ミタヤウナ、常用飛行場トシテドウ云フ飛行場ヲ使ッテ居ルカト云フコトヲ、登録事項トシテ登録シテ置クノガ便宜ト思ッテ居リマス

○湯淺倉平君 航空機ノ所有者ノ氏名名稱モ分ッテ居ル、登録記號モ分ッテ居ルト云フコトデアレバ、ドウノ飛行場ニ屬スルト云フ程ノコトマデ登録サレナクテモ宜クハナイカト云フヤウナ感ジガ致ス、是ハ何カ非常ナ場合ニ徴發ニデモナルト云フヤウナ場合ニ於テ、サウ云フモノガ登録サレルノデハ無イカト思ヒマスケレドモ、チヨット想像デハサウ煩瑣ナコトヲ命ゼラレナクテモ宜カリサウニ思ヒマス、詰リ大體成ルベク航空機ノ發達ヲ希望スル精神カラ考ヘマシテ、初メテ作ラレル法律ニ非常ニ煩瑣ナ規定ガ多い、出來得ルナラバ成ルベク簡約ニ致シタイト云フヤウナ考カラ出テ、御尋シテ居ルヤウナ譯デアリマス、何カサウ云フ必要ガアリマスカ

○説明員(神田純一君) 飛行機ハ常用飛行場トシテ何處ノ飛行場ヲ使用シテ居ルカト云フコトハ、色々航空取締上必要デアリマス、サウシテ是ハ唯今常用飛行場ニ付テ申上ゲマスレバ、航空條約デモ矢張り登録證明書ニ常用飛行場ヲ掲載シテ置ケ、又飛行機製作者ノ製造番號ナドモ登録證明書ニ記載セヨト云フ風ニナッテ居リマス

○湯淺倉平君 チヨット製作者ノ氏名等モ含ムト云フ御説明デアリマスカ

○説明員(神田純一君) 飛行機ヲ製作スル場合ニ航空會社ノ製造シマシタ時ニ、航空會社ノ番號ガ飛行機ニ附クデアリマス、其製作所番號ト普通言ッテ居リマス、サウ云フモノモ登録證明書ニ書ケト條約デナッテ居リマス、サウ云フコトヲ書カスコトニナルト思ヒマス

○男爵坂本俊篤君 チヨット此登録記號ニ付テ伺ヒマスガ、登録記號ノコトハ條約ノ附則ニアリマシテ、四號ノ大文字デ之ヲ示ストアリマス、何カ一例ヲ御

示シテ願ヒマス

○説明員(神田純一君) 詰り五大國ダケハ「アルファベット」ノ文字ノ中カラ一母音ヲ含マシテ、後ノ三文字ハ勝手ニ列ベテ四文字デ登録標識ヲ示スト云フコトニナツテ居リマス

○男爵坂本俊篤君 日本デスレバドウスレバ宜イデスカ

○説明員(神田純一君) 簡單ニ申セバ「ジー」ト云フ字ヲ書イテ、サウシテ航空機登録標識ト致シマシテハ「エー」「ビー」「シー」「デー」デモ差支ナイ、母音ヲ含メテ後トニ「アルファベット」ノ三文字ヲ以テ登録標識ヲ作ル、大體ソレデ造リマス、日本ノ飛行機ハ二十萬臺マデ、此標識デ造ラレマス

○男爵坂本俊篤君 序ニ少シ跡ヘ返リマスガ、第五條第四項ノ「行政官廳ノ許可ヲ受ケタル」ト云フ此事ハ、行政官廳カラドウ云フ許可ヲ受ケタルト云フコトヲ指スノデアリマス、是ハ航空機ニ適用シナクテモ宜イト云フコトノ許可ヲ受ケタルト云フコトデアリマス、何ノ許可ヲ受ケタルコトデアリマス

○説明員(神田純一君) 第一項及ビ第二項ニ規定スル検査ニ關スル規定デゴザイマス、行政官廳ノ許可ヲ受ケタル航空機ニ検査ノ規定ヲ適用シナイト云フコトデアリマス、ソレハ先程申シマシタヤウニ、商人ガ外國カラ飛行機ヲ販賣スル爲ニ輸入シタ、併ナガラ是ハ未ダ買主ガ無イ、商品トシテ自分ガ持ッテ居ルト云フヤウナ場合ニ検査ヲ受ケマス、六箇月毎ニ再検査ヲ受ケネバナリマセス、サウ云フ場合ニ行政官廳ノ許可ヲ受ケテ、自分ガ商品トシテ持ッテ居ル間ハ、検査ヲ受ケナクテモ宜イト云フ趣旨デアリマス

○湯淺倉平君 第八條ノ第二項第四號ノ場合ニ、抹消登記ノ申請ヲ所有者カラサセナイデ置イテ、サウシテ行政官廳ハ職權ヲ以テ抹消ノ登録ヲナスコトヲ得ル、サウ云フコトニナツテ居リマスガ、是ハドウ云フ譯デゴザイマセウカ、又行政官廳ノ職權ヲ以テ抹消ノ登録ヲナシテモ、ナサナクテモ宜イト云フ譯デアリマセウカ

○説明員(神田純一君) 第二項第四號ノ場合ハ、堪航證明書ガ其效力ヲ失ツタ場合デアリマス、其堪航證

明書ガ效力ヲ失ツタ場合、堪航證明書ニ記載シタ有効期間ヲ經過スルカ、或ハ定期又ハ臨時検査ノ際、航空機ハ某場所ニ航空サシタイケナイト云フ、航空上ノ禁止ガアツテ、航空サス事ハ、保安上危險デアルト云フ場合ニ、行政官廳ガ使用ヲ禁ジタ場合デアリマス、本人ガ申請ヲ致サスデモ行政官廳ノ方デ效力ヲ失ツタモノハ、斯ノ如クナルノデアリマス、特ニ本人ノ申請ヲ待タナイデ、抹消スル事ガ出來ル規定ヲ定メマシタ、又此場合ニ航空機ノ所有者ニ申請義務ガアルト致シテモ、實際申請シナイ場合ガアリマス、是ハ職權抹消ヲヤツテ差支ナイト云フ規定デアリマス

○湯淺倉平君 第九條ノ所有者ノ氏名名稱及住所ヲ表示スルト云フコトハ、ドウ云フ方法デゴザイマセウカ、唯航空機ニサウ云フ名前ヲ書イテ置ケト云フダケノ趣意デゴザイマス

○説明員(神田純一君) 國籍記號ト登録記號ハ條約デ一定ノ大サ、又ハ其記載シマス場所ニナツテ居リマス所有者氏名、名稱及住所ハ殆ド條約デ一定テ居リマスガ、金屬板ヲ以テ之ヲ表示セイト云フコトニナツテ居リマス、特ニ金屬板ヲ以テ表示シマス理由ハ、航空機ガ燒ケタルト云フ場合ニ其航空機ガ何人ノ航空機ガ燒ケタルト云フヤウナコトガ明カニナル爲ニ、特ニ金屬板ヲ以テ表示セイト云フコトニナツテ居ルダラウト思ヒマス

○湯淺倉平君 第十二條ノ命令ヲ以テ定ムル場所ニ於テ航空スル航空機ト云フモノニ付マシテハ、命令ヲ以テ定メラルル場所ト云フモノハ、ドウ云フ場所ヲ豫想シテ居リマス

○説明員(神田純一君) 是ハ大體飛行場ノ種類ニ依リ、一定ノ距離ヲ豫想シテ居ルノデス、ソレハ飛行場ハ一定ノ距離ニ對シテ斯ウ云フ規定ヲ置キマセスト工場ガ十分ニ利用ガ出來マセス、飛行場外部二千メートルノ區域ヲ以テ定メル考デアリマス

○男爵坂本俊篤君 第十三條、第五條、第七條、第八條及第十一條ニ規定スルモノノ外航空機ノ検査又ハ登録ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム、此處ニ掲ゲラレタ各條ハ即チ航空機ノ検査、登録ノコトヲ規定サレタノデアリマスガ、是等ノ事柄ノ外ニ何等カ

命令ヲ以テ定メルト云フノデアリマス、又ハ此處ニ概括的ニ掲ゲテアルカラ、モット此事柄ニ付テ細カイトハ命令ヲ以テ此ヲ定ム、斯ウ云フ意味ニナルノデアリマス、ドチラデアリマス

○説明員(神田純一君) 無論此五條、七條、八條、十一條ニ掲ゲマシタ規定ニ關シテ定メタ其外ニ於テモ例ヘバ航空機ノ検査ノ場合ニ付テ申セバ、検査ノ際ニ、検査官吏ガ検査ニ出張スル爲メニ、例ヘバ翼ノ布ノ一部分ヲ切ツテ見ルコトガアリマスガ、サウ云フ場合ノ損害賠償ニ任ズルトカ云フコトハ、是ハ別ニ規定スルコトニナルノデアリマス、登録事項ニ錯誤ノアツタ場合ノ訂正ハドウカト云フコトハ、別ニ規定スル必要ガアラウト思ヒマス

○湯淺倉平君 是ハ餘リ迂濶ナ質問デスガ、大體外國人ガ日本ノ領土内ニ於テ航空機ヲ製造スルト云フコトハ、許サレナイ譯デアリマス

○説明員(神田純一君) ソレハ差支ナイノデアリマス、唯其製造シタ航空機ガ外國人ガ有ッテ居リマシテモ、日本ノ國籍ヲ除クコトハ出來ナイダケノ問題デアリマス

○湯淺倉平君 サウ致シマス、外國人ノ内地ニ於テ製作シタ航空機ガ、日本ノ國籍ヲ有ッテ居リマセス故ニ、第十條ノ規定ニ依ッテ航空ノ用ニ供スルコトガ出來ナイノデアリマス

○説明員(神田純一君) 左様デゴザイマス、詰リ航空機ハ航空機ノ所有者ノ本國デナケレバ検査ヲ受ケルコトハ出來マセス

○男爵坂本俊篤君 此航空條約ハ批准スルト云フコトデアリマシテ、マダ批准ニ付テノ時期ハ別ニ限定サレテ居ラヌヤウデアリマスガ、是ハ御批准ノコトデアリマス、豫想シ得ル限りデナイト思ヒマスガ、此法案ハ條約ノ御批准ニ基イテヤルノデアリマスガ、大體何時頃御批准ニナリ、又此法案ハ何時頃カラ御實行ニナルト云フコトノ極大體ノ御様子ヲ伺ッテ置キタイ

○説明員(神田純一君) イツ御批准ガゴザイマス、チヨット分リマセスノデアリマスガ、併シ昨年ノ九年ニ巴里ノ大使館ヘ來テ、此航空條約ノ締約國ノ

過半数ノ批准ヲ條件ト致シテ居リマスル所ノ航空委員會ト云フモノガゴザイマスガ、其航空委員會ノ開會ヲ成ルベク昨年未カ遅クモ本年ノ初冬ニ開カウト云フコトヲ大使館ヘ來テ決議シテ居リマス、自然ソレデ御批准ガサウ遅クナイコト考ヘテ居リマス

○男爵坂本俊篤君 サウ致シマスルト、此航空法案ガ實施サレルマデニハ、若干ノ茲ニ歲月ヲ要シマセウガ、月日ヲ要スルデアリマセウガ、其間ハ何等カ取締規則ヲ以テ之ニ充當サレルト云フ先程ノ御説明デアリマスガ、其取締規則ハイツ頃御發布ニナルノデスカ

○政府委員(山梨半造君) 此取締規則モ近々ニ發布ヲシヤウト思ッテ居リマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 如何デゴザイマスカ、時間モ四時ニナリマシタシ、此二章ハ大體質問ガ盡キタヤウデアリマスカラ、今日ハ是デ散會イタシマシテ、明日本會議ガ無ケレバ十時カラ開キマスシ、若シ明日本會議ガアリマシタラバ、議事散會後開クト云フコトニシテ、本日ハ是デ散會イタシタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳原義光君) 御異議ガ無ケレバ、今日ハ是デ散會イタシマス

午後四時四分散會

出席者左ノ如シ

委員長	伯爵柳原	義光君
副委員長	男爵坂本	俊篤君
委員		

男爵阪谷	芳郎君
男爵藤井	包總君
加藤	恒忠君
湯淺	倉平君
三木	與吉郎君

委員外議員

男爵東郷 安君

政府委員

陸軍次官 山梨 半造君

説明員

陸軍中將	井上 幾太郎君
海軍次官	井出 謙治君
航空局書記官	神田 純一君

大正十年三月二十九日印刷

大正十年三月三十日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局